

道路施設基本データ作成要領(案)
(暫定版)

平成28年 3月

国土交通省 四国地方整備局

目 次

1. 目的.....	1
2. 道路施設基本データの概要.....	1
2.1. 概 要	1
2.2. 作成データ構成.....	2
3. 道路施設基本データ作成の手順	3
4. 事前準備及び提出.....	4
4.1. 事前提出添付様式の入手	4
4.2. 道路施設基本データ関連資料等の取得.....	5
4.3. 事前確認資料の作成.....	7
4.4. 事前提出資料の提出及びチェック.....	10
5. 道路施設基本データ作成	11
5.1. 各システムのインストール	11
5.2. 道路施設基本データ全体位置図の作成.....	12
5.3. 記入シートの作成.....	14
5.4. 各施設データの作成の注意点について	17
5.5. 工事種別によるデータ作成上の注意事項.....	18
5.6. 工事施工業者が作成できない項目	19
5.7. 管理区間を他機関へ移管または廃道とする場合	19
5.8. 各施設毎の注意点	19
5.9. イメージデータ作成.....	31
5.10. 道路施設基本データ作成システム利用によるデータ作成.....	41
6. とりまとめ及び提出物内容	50
6.1. 提出する際の留意点.....	50
7. 電子納品への道路施設基本データ格納	52
8. 成果提出	53
9. 質問・問合せ.....	53
10. 別添資料.....	53

1. 目的

「道路管理データベースシステム」は、道路施設に関する情報の一元化及び共有化、また、道路管理の効率化・高度化を図ることにより、災害時あるいは多様化する道路行政への要望等に迅速かつ適確な対応を図ることを目的としている。

本要領(案)は、上記の道路管理データベースの基となるデータとして、受注者が電子納品する「道路施設基本データ」の作成方法等を示したものである。

2. 道路施設基本データの概要

2.1. 概 要

道路施設基本データは、道路管理データベースから作成される道路施設基本台帳の基になる情報である。

電子納品では、請負工事に関連する道路施設の諸元や補修に関するデータを道路施設基本データという形式で作成する。

よって本要領では、道路施設基本データの電子納品について、データ作成方法、ファイル形式、格納するフォルダ形式、データチェック方法、道路施設基本データの承認完了時の取り扱いまでを規定した。(図1参照)

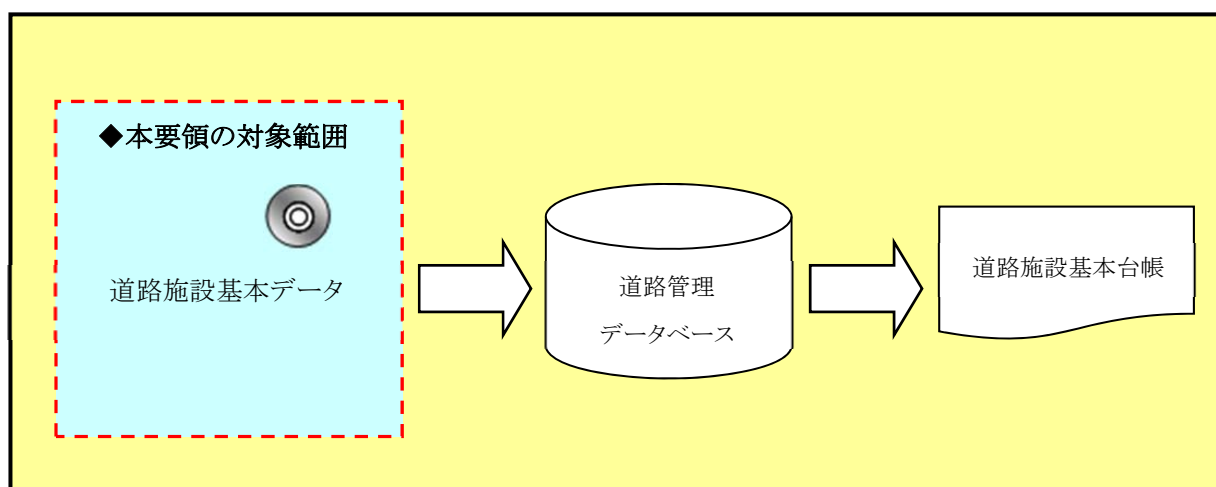


図1 本要領の対象範囲

2.2. 作成データ構成

新設・改良や維持修繕などの請負工事に関連する道路施設について、工事の区分を新設、改良、撤去の3区分とし、工事区分に合わせて、以下に示すデータを道路施設基本データとして作成する。

- ①道路施設基本データ詳細情報(拡張子.csv)
- ②イメージデータ【図面類】(拡張子.jpg)
- ③イメージデータ【現況写真】(拡張子.jpg)
- ④道路施設基本データ全体位置図(拡張子.pdf)

道路施設基本データ詳細情報は、工事に関連する道路施設の諸元情報等を、文字・数値で作成するものである。

イメージデータは、現況写真及び道路施設の図面(平面図、標準断面図等)を対象とする。

なお、補修補強工事や維持工事など、道路施設の図面に変更が生じない工事については道路施設の図面を作成する必要はない。

また、現況写真についても、道路施設形状に変更を加えない工事については作成する必要はない。

道路施設基本データ全体位置図は、道路施設毎に作成した道路施設基本データについて、新設、撤去などの工事区分やその施設位置等を確認するために作成するものである。

橋梁施設を事例にして、4種類の情報から成る道路施設基本データの構成を以下に示す。(図2参照)

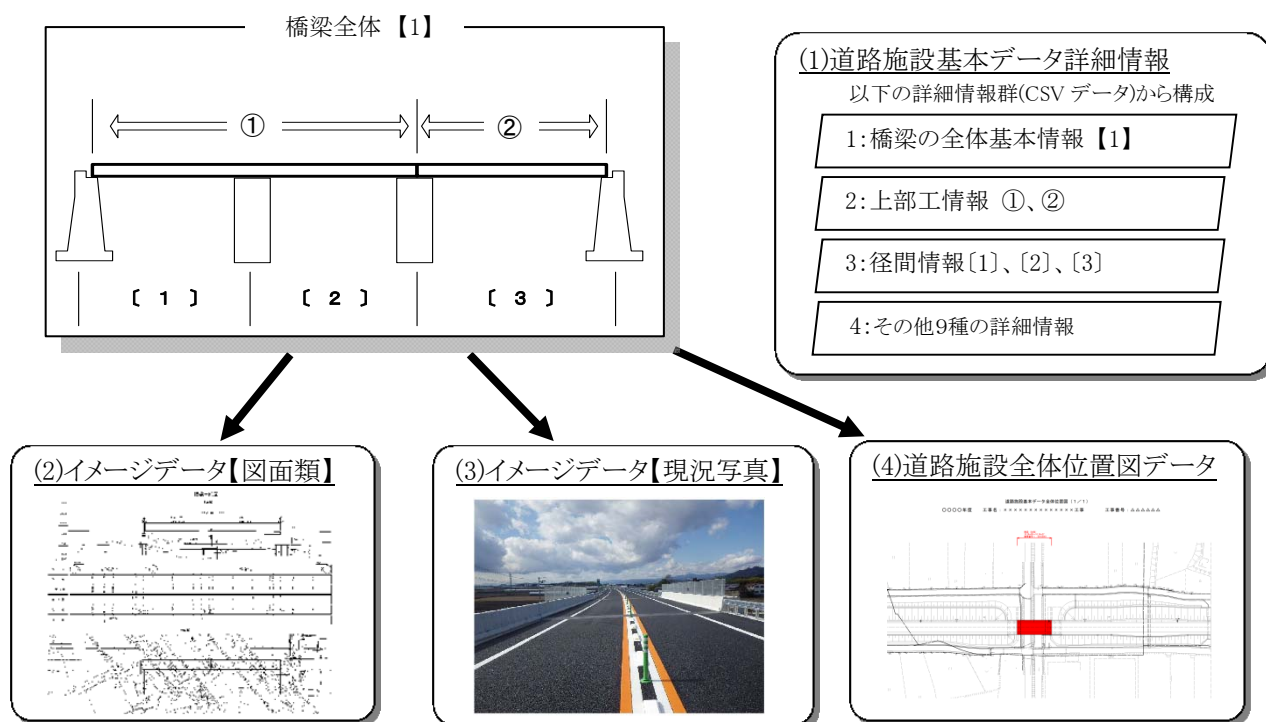
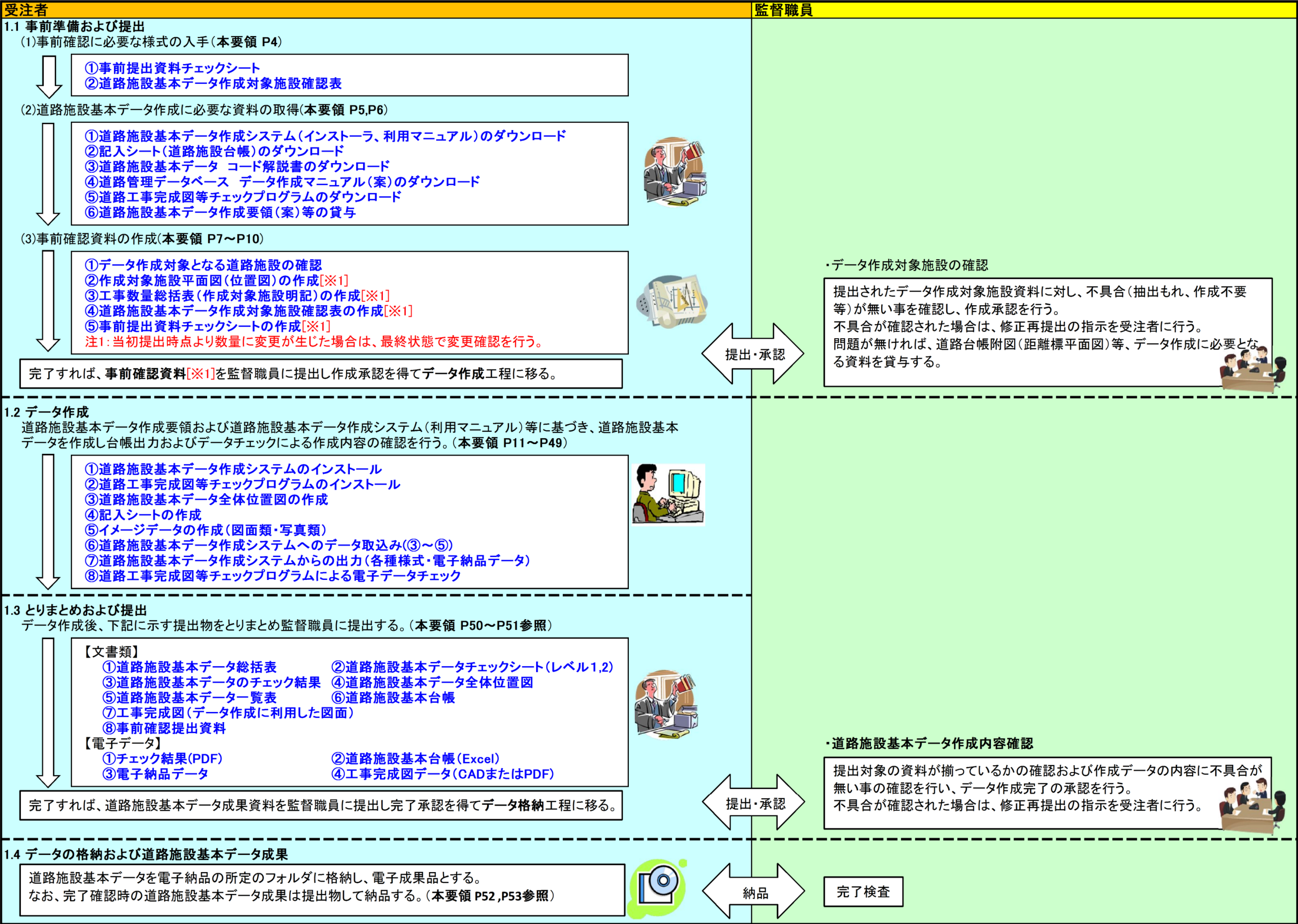


図2 道路施設基本データの構成

3. 道路施設基本データ作成の手順

道路施設基本データの作成における作業フローを以下に示す。

表 2 道路施設基本データの作成フロー



4. 事前準備及び提出

道路施設基本データ作成に必要となる各種マニュアル及びシステムを取得し、工事によるデータ作成の対象となる施設を事前に確認して承認を受ける。

4.1. 事前提出添付様式の入手

監督職員から事前提出に必要となる下記様式の貸与を受ける。

(1) 道路施設基本データ作成対象施設確認表

道路施設基本データ作成対象施設確認表										提出日： 年 月 日		
工事請負業者情報	工事名				項番	道路施設基本データ工種	作成件数					
	路線名等						新規	改良	撤去			
	業者名				1							
	担当者名				印	2						
	連絡先	電 話			3							
メー ル				4								
発注者情報	工事発注部署				5							
	1	監督部署				6						
		主任監督員				印	7					
		監督員				印	8					
	2	監督部署				9						
		主任監督員		※工事で複数の監督部署(出張所または監督官詰所)となる場合は2～4に記入。		印	10					
		監督員				印	11					
	3	監督部署				12						
		主任監督員				印	13					
		監督員				印	14					
	4	監督部署				15						
		主任監督員				印	16					
		監督員				印	17					
備 考												

(2) 事前提出資料チェックシート

事前提出資料チェックシート		
工事名:		提出日: 年 月 日
提 出 資 料	チェック内容	チェック結果 (OK/NG)
道路施設作成対象施設平面図(位置図)	①提出されているか?	
	②提出図面で作成対象施設が判断可能か(不鮮明等)?	
	③作成の対象となる施設が正しく抽出されているか?	
工事数量総括表	④提出されているか	
	⑤平面図(位置図)にて抽出した施設内容と一致しているか?	
道路施設基本データ作成対象数量総括表	⑥提出されているか?	
	⑦記入内容に記入漏れは無い?	
	⑧記入内容に不備は無い(工種・作成項目・件数)?	
備考		
確認者:		確認日: 年 月 日
※チェックにて不備があれば、本チェックシートおよび図面等に不具合内容を記載し、請負業者に返却し再提出を指示する。		

4.2. 道路施設基本データ関連資料等の取得

工事を受注後、道路施設基本データ作成に必要な関連資料とチェックプログラムを、国土交通省 国土技術政策総合研究所の「道路工事完成図等作成支援サイト」(<http://www.nilim-cdrw.jp/>)ダウンロードサイトより、下記資料を取得する。

(1) ダウンロード(作成支援ツール)

道路施設基本データ

①道路施設基本データ作成システム(インストーラ、利用マニュアル)

②記入シート(道路施設台帳) ※中部地方整備局を利用

道路工事完成図等作成支援サイト

国土交通省 国土技術政策総合研究所

ホーム

完成平面図

完成縦断面図

道路施設基本データ

ダウンロード

基準類

作成支援ツール

サンプルデータ

その他

Q&A

ヘルプデスク

リンク

サイトマップ

ホーム > 作成支援ツールのダウンロード

■ 作成支援ツール

完成平面図

距離標・測点属性入力支援ツール Ver.1.1.1

Download(LZH形式:0.5MB)

道路工事完成図等作成要領に従い、SXF Ver.2.0 形式で完成平面図を作成する際に必要となる、距離標・測点属性データ(拡張子 CSV)の作成を支援するツール

道路施設基本データ

道路施設基本データ作成システム Ver.1.0.2

①

Download(LZH形式:33.8MB)

道路工事完成図等作成要領に準拠した道路施設基本データの作成を行うシステムです。
インストーラと利用マニュアルは、右上のリンクからダウンロードできます。

■ 記入シート(道路施設台帳)

道路施設基本データの入力項目は地方整備局毎に異なるため、その記入シート(道路施設台帳)も地方整備局毎に用意しています。それぞれ下記リンクよりダウンロードしてください。

北海道開発局 東北地方整備局 関東地方整備局 北陸地方整備局 中部地方整備局 近畿地方整備局 中国地方整備局 四国地方整備局 九州地方整備局 沖縄総合事務局

②

■ 道路施設基本データ作成に関するお問合せ

Q&Aにて、道路施設基本データ作成におけるよくある質問とその回答を紹介しています。
ご不明点がございましたら、まずは Q&A をご覧ください。

もし、Q&Aにて解決に至らないようでしたら、地方整備局(北海道開発局・沖縄総合事務局含む)のお問合せ窓口へご連絡ください。各地方整備局のお問合せ窓口は、下記リンクよりご確認ください。
→ 各地方整備局のお問合せ窓口

■ 地方整備局等における道路施設基本データ関連サイト

下記地方整備局等においては作成要領やマニュアル等を作成し、公開していますので、必要に応じて下記リンク先(各地方整備局のHP)からダウンロードしてください。

北海道開発局 道路施設基本データ作成支援サイト
東北地方整備局 道路施設基本データ作成用資料
中部地方整備局 道路施設台帳作成要領について
中国地方整備局 道路施設基本データ作成要領(案)

四国地方整備局版の道路施設作成要領(案)はダウンロードできないため各事務所(工事発注部署)より貸与を受けてください。

5

(2) ダウンロード(その他)

道路施設基本データ作成のための補足資料

③道路施設基本データ コード解説書

④道路管理データベース データ作成マニュアル(案)

※不足の消波工(D140)については⑥道路施設基本データ作成要領(案)に添付

道路工事完成図等関連プログラム

⑤道路工事完成図等チェックプログラム

国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路工事完成図等作成支援サイト

ホーム

完成平面図

完成縦断面図

道路施設基本データ

ダウンロード

基準類

作成支援ツール

品質評価ツール

サンプルデータ

その他

Q&A

ヘルプデスク

リンク

サイトマップ

道路施設基本データ作成のための補足資料

道路施設基本データ コード解説書 ③

道路施設基本データ作成時に入力する各種コードに関する解説資料

Download(LZH形式:0.8MB)

道路管理データベース データ作成マニュアル(案)
(道路施設基本データ 作成マニュアル) ④

道路施設基本データを作成するためのマニュアル

Download(LZH形式:23.3MB)

道路工事完成図等関連プログラム

道路工事完成図等チェックプログラム Ver.2.4

プログラム本体 ⑤

Download(LZH形式:23.3MB)

設計書およびプログラム仕様書(HTML) ※開発者向け

Download(LZH形式:4.7MB)

※必ず利用マニュアルを参照し、指示に従いインストールを実施して下さい。

CAD-GISコンバータ【道路版】 Ver.2.4

※ JPGIS Ver.2.1に準拠したGISデータ(XML)に変換します。

プログラム本体

Download(LZH形式:7.8MB)

設計書およびプログラム仕様書(HTML) ※開発者向け

Download(LZH形式:5.3MB)

(3) 工事監督部署より貸与

⑥道路施設基本データ作成要領(案)等

6

4.3. 事前確認資料の作成

事前確認に必要となる資料を作成する。

(1) データ作成対象となる道路施設の確認

工事において新設または改良・撤去した施設の内、表1に示す道路施設が対象となり、工事が影響する施設をよく確認し、データ作成対象施設を選出する。

表1 道路施設一覧表

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物及び付帯施設	E040	自光式視線誘導標
	C030	平面線形		E050	道路標識
	C050	舗装		E060	道路情報板
	C060	道路交差点		E070	交通遮断機
	C070	鉄道交差点		E080	I. T. V
	C080	歩道及び自転車歩行者道		E090	車両感知器
	C090	独立専用自歩道		E100	車両諸元計測施設
	C100	中央帯		E110	気象観測施設
	C110	環境施設帯		E120	災害予知装置
構造物	D010	橋梁		E130	自動車駐車場
	D020	橋側歩道橋		E140	自転車駐車場
	D030	横断歩道橋		E150	雪崩防止施設
	D040	トンネル		E160	落石防止施設
	D050	洞門		E170	消雪パイプ
	D060	スノーシェッド		E180	ロードヒーティング
	D070	地下横断歩道		E190	除雪ステーション
	D080	道路BOX		E210	共同溝
	D090	横断BOX		E220	CAB電線共同溝
	D100	パイプカルバート		E230	植栽
	D120	擁壁		E240	遮音施設
	D140	消波工		E250	遮光フェンス
	E010	防護柵		E270	流雪溝
	E020	道路照明		E330	光ケーブル施設
	E030	反射式視線誘導標		E350	ビーコン

作成対象施設を確認・選出し、道路台帳附図または工事平面図等に「作成対象施設を明記」する。

[illegible]

(4) 道路施設基本データ作成対象施設確認表

上記「確認・抽出」作業にて作成対象とした「**工種・作成内容(数量)**」及び「**必要事項**」を記入する。

道路施設基本データ作成対象施設確認表										提出日: ○○年○○月○○日		
工事請負業者情報	工事名		○○年度 ○○○○工事			項番	道路施設基本データ工種	作成件数				
	路線名等		国道○○号、○○道路					新規	改良	撤去		
	業者名		○○建設			1	防護柵	1	0	0		
	担当者名		○○太郎 印			2	擁壁	1	0	0		
	連絡先	電 話	099-9999-9999			3						
メー ル		aaa.jp			4							
発注者情報	工事発注部署		○○課			5						
	1	監督部署	監督官詰所／出張所			6						
		主任監督員	監督官／出張所長 印			7						
		監督員	確認担当者名 印			8						
	2	監督部署				9						
		主任監督員	※工事で複数の監督部署(出張所または監督官詰所)となる場合は2～4に記入。 印			10						
		監督員	印			11						
	3	監督部署				12						
		主任監督員	印			13						
		監督員	印			14						
	4	監督部署				15						
		主任監督員	印			16						
監督員		印			17							
備 考												

(5) 事前提出資料チェックシート

事前提出資料の内容を確認するために、「**工事名**」を記入する。

事前提出資料チェックシート		
工事名: ○○年度 ○○○○改良工事		
提 出 資 料	チェック内容	チェック結果 (OK/NG)
道路施設作成対象施設平面図(位置図)	①提出されているか?	
	②提出図面で作成対象施設が判断可能か(不鮮明等)?	
	③作成の対象となる施設が正しく抽出されているか?	
工事数量総括表	④提出されているか	
	⑤平面図(位置図)にて抽出した施設内容と一致しているか?	
道路施設基本データ作成対象数量総括表	⑥提出されているか?	
	⑦記入内容に記入漏れは無い?	
	⑧記入内容に不備は無い(工種・作成項目・件数)?	
備考		
確認者:		確認日: 年 月 日

4.4. 事前提出資料の提出及びチェック

4. 3. 事前確認資料の作成にて作成した、「作成対象施設平面図(位置図)」、「工事数量総括表(作成対象施設明記)」、「道路施設基本データ作成対象施設確認表」、「事前提出資料チェックシート」の4点を、監督職員に提出し、チェックシートを基に、不具合(抽出もれ、作成不要等)が無いことの確認を行い、作成承認を得る。

不具合が確認された場合は、すみやかに修正し再提出する。

※本提出資料一式は、完了確認時の提出物となるため紛失しないよう管理する。

5. 道路施設基本データ作成

道路施設基本データ作成に必要な、各システムのインストール及び承認を受けた事前提出資料に基づき、道路施設基本データを作成する。

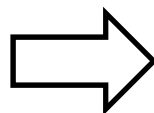
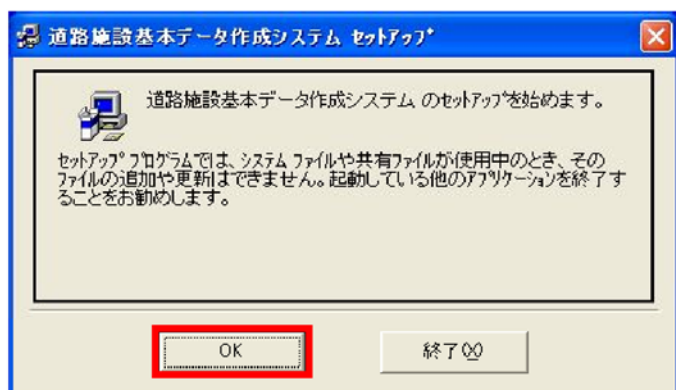
5.1. 各システムのインストール

道路施設基本データ作成に必要な下記システムをインストールする。

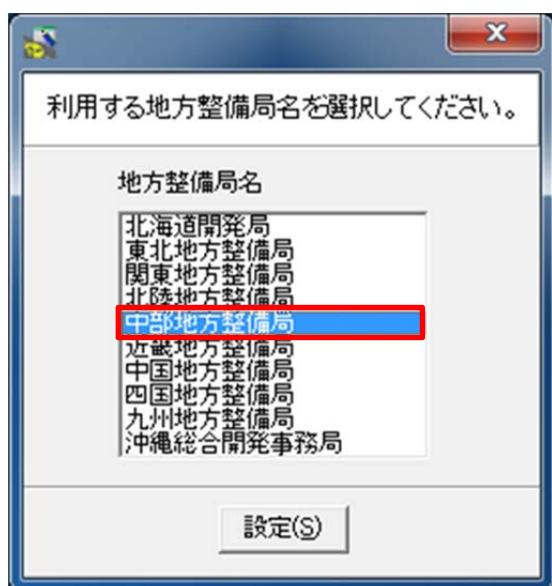
インストール方法については、「道路施設基本データ作成システム利用マニュアル_v1.0.2」「チェックプログラム_Ver.2.4_利用マニュアル」に記載。

(1) 道路施設基本データ作成システムのインストール

詳細については、「本要領(P5) 4.2. 道路施設基本データ関連資料等の取得」にてダウンロードした「道路施設基本データ作成システム(インストーラ、利用マニュアル)」の圧縮ファイルを解凍し、利用マニュアルのインストール方法を参照。

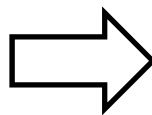
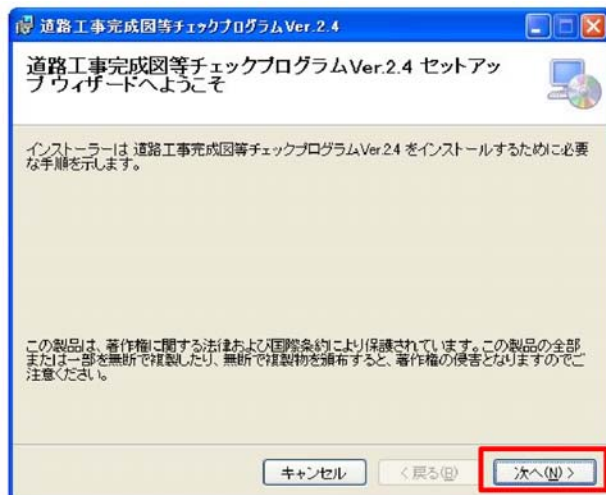


※利用マニュアル、6ページに記載されている利用する地方整備局の選択は“中部地方整備局”を選択して下さい。(記入シートのダウンロードで選んだ地方整備局を選択)



(2) 道路工事完成図等チェックプログラムのインストール

詳細については、「本要領(P6) 4.2. 道路施設基本データ関連資料等の取得」にてダウンロードした「道路工事完成図等チェックプログラム」の圧縮ファイルを解凍し、利用マニュアルのインストールを参照。



5.2. 道路施設基本データ全体位置図の作成

(1) 位置図

道路施設基本データ全体位置図は、作成された道路施設基本データの位置確認及びイメージデータ(図面、現況写真)との対比を行うために作成するもので、道路台帳附図、工事平面図を基に、工事に関連するデータを作成した施設の位置(特に延長方向)が明確に判別できる下記情報を明記したものとする。

- ・当該年度
- ・工事名
- ・工事番号
- ・距離標(百米標)又は、測点の位置
- ・工事区分(新設、改良、撤去のいずれか)
- ・図面縮尺(スケール) 等

道路施設基本データを作成した施設の位置を明記する。また、その位置に対して、施設を認識するための下記情報を旗揚げ表示で記載する。

- ・道路施設名称(工事区分)
- ・距離標(百米標又は測点) + 距離標からの追加距離(m)
- ・整理番号1

記入シート作成時の整理番号1と合わせる

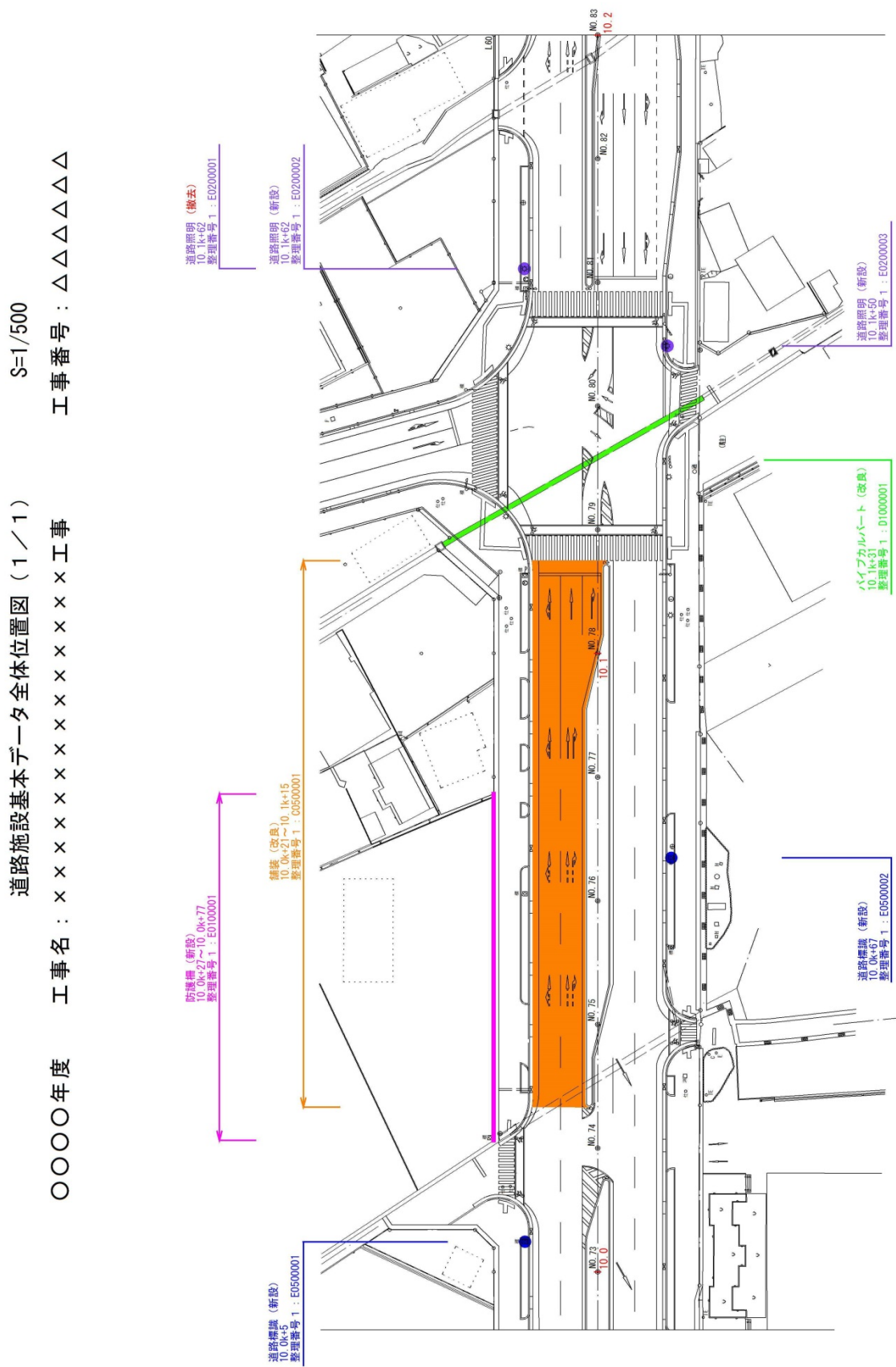
作成例: E020 + 0001

【施設番号】 【作成施設番号(4桁)】

道路施設基本データ全体位置図の作成事例を、次頁図3に示す。

なお、道路施設基本データ全体位置図は、PDF 形式に変換し電子データとするとともに、作成内容確認時に使用するため紙書類として出力する

図3 道路施設基本データ全体位置図作成例



※1 整理番号1はデータ一覧表の施設対応番号に対応
※2 旗揚げの色分けは特に指定しない

5.3. 記入シートの作成

作成対象となっている工種の記入シート(Excel ファイル)に、必要事項を入力しシステムへのデータ読込準備をする。

※記入内容の詳細については「道路施設基本データ作成システム 利用マニュアル 4. 操作説明」および「道路管理データベース データ作成マニュアル(案)」を参照。

なお、「道路施設基本データ作成システム 利用マニュアル 4. 操作説明 (2)変更用の『道路施設台帳』記入シート準備」で入手対象の【既存の道路施設台帳】データ提供は行っていないため、既存施設に対するデータ作成は監督職員の指示に従って下さい。(例:新規記入シートを利用し、改良または撤去として必要情報を入力する。)

文字・数値データの作成対象施設は、次頁に示す表3「道路施設基本データの作成対象となる道路施設詳細表」に記載する道路施設とする。

作成工種は、「親」―「子」―「孫」の関係となっており、「子」の道路施設基本データを作成する場合には、「親」のデータも作成すること。同様に、「孫」の道路施設基本データを作成する場合には、「親」―「子」のデータも作成する。

※(例) 橋梁径間(孫)データを作成する場合→橋梁(親)、上部工(子)のデータも作成する。

(1) 記入シート

「本要領(P5) 4.2. 道路施設基本データ関連資料等の取得」にてダウンロードした「[記入シート](#)」より、作成対象工種の記入シートを抽出し、文字・数値データとして必要項目を入力する。

なお、同一工種が複数におよぶ場合はシートを複製して対応する。

※記入シートに対し四国地整で整備が必要な項目 **青色**で明記。(別添「入力対象項目シート」を参照)
また、整備対象外の項目には“#”入力して下さい(データチェック時のエラー対策)

橋梁台帳		共通説明事項 1		業名及び責任者		TEL	
名称	共通説明事項 2	工事名	路線名	一般国道	管理番号 1	共通説明事項 6	
所在地 (自)	共通説明事項 3	距離 (自)	共通説明事項 5	+	調整年月日	共通説明事項 7	
(至)	共通説明事項 4	(至)	共通説明事項 6	+	改訂年月日	共通説明事項 8	
【基本諸元】 データ区分 :							
橋梁区分	共通説明事項 1	橋長	共通説明事項 4	m	架設竣工年	共通説明事項 16	
橋梁種別	共通説明事項 2	総径間数	共通説明事項 5		橋の等級	共通説明事項 23	
上部工分離・橋脚一体	共通説明事項 3	橋面積	共通説明事項 6	m ²	適用示方書	共通説明事項 24	
構造の別		平面形状	共通説明事項 10		設計活荷重	共通説明事項 25	
分割区分	共通説明事項 4	最小半径	共通説明事項 7	m	水平変位	共通説明事項 17	
事業区分	共通説明事項 5	縦断勾配	共通説明事項 8	%	【特殊荷重】	共通説明事項 18, 共通説明事項 26	
路線名 (俗称)	共通説明事項 11	【舗装】	共通説明事項 9, 共通説明事項 11	種類	1		
【交通規制】	共通説明事項 22	面積		m ²	2		
通行制限	共通説明事項 6	粒度	共通説明事項 12	上層	3		
荷重制限		種類	共通説明事項 13	上層	4		
制限 高さ	m	下層		5			
幅	m	下層		6			
迂回路の有無	共通説明事項 7	厚さ		cm	【基本耐荷力】	共通説明事項 19	
交通現況	共通説明事項 8	下層		cm	主桁、主構、トラス橋		
【他域橋長】	共通説明事項 3	【照明】	共通説明事項 10, 共通説明事項 14		載荷弦		tf
起点側所在地	記入不要	歩道並架の有無	共通説明事項 15		その他		tf
終点側所在地	記入不要	点検施設	共通説明事項 16		床及び床組		
起終点区分	共通説明事項 9	排水施設	共通説明事項 17		床版		tf
他域延長	m	遮音壁の有無	共通説明事項 18		縦桁・横桁		tf
【橋梁接続】		遮光壁の有無	共通説明事項 18		工費	上部工	記入不要 百万円
起点側		踏掛版の有無	共通説明事項 18		下部工	記入不要 百万円	
市区町村	記入不要	凍結防止剤の散布回数	共通説明事項 19		備考	共通説明事項 9	
橋梁種別	記入不要				記入不要		
事務所コード	記入不要	【消雪パイプ】	共通説明事項 11, 共通説明事項 14				
出張所コード	記入不要	有無					
橋梁コード	記入不要	【ロード・ヒール・インク】	共通説明事項 12, 共通説明事項 14				
分割番号	記入不要	有無					
終点側		【床版防水工】					
市区町村	記入不要	種別	共通説明事項 20				
橋梁種別	記入不要	範囲	共通説明事項 21				
事務所コード	記入不要	面積	共通説明事項 13	m ²			
出張所コード	記入不要	塩害地域区分	共通説明事項 22				
橋梁コード	記入不要	塩害地域距離	共通説明事項 14	km			
分割番号	記入不要	【落下物防止欄】	共通説明事項 15				
		高さ		m			
		延長		m			

(2) 道路施設基本データの作成対象となる道路施設詳細表

表3 道路施設基本データの作成対象となる道路施設詳細表(1/2)

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類			四国地整備情報
					親	子	孫	
道路構造	C020	縦断勾配	C020	縦断勾配	○			○
			C021	バーチカルカーブ	○			○
	C030	平面線形	C030	平面線形基本	○			○
			C031	平面線形折曲り箇所	○			○
	C050	舗装	C050	舗装基本	○			○
			C052	舗装補修歴		○		○
	C060	道路交差点	C060	道路交差点本線	○			○
			C061	道路交差点従道路		○		○
	C070	鉄道交差点	C070	鉄道交差点基本	○			○
			C071	鉄道交差点鉄道事業者		○		○
	C080	歩道及び自転車歩行者道	C080	歩道自歩道	○			○
	C090	独立専用自歩道	C090	独立専用自歩道	○			○
構造物	D010	橋梁	C100	中央帯	○			○
			C110	環境施設帯	○			○
			D010	橋梁基本	○			○
			D011	橋梁幅員構成		○		○
			D012	橋梁高欄防護柵		○		○
			D013	橋梁交差状況		○		○
			D014	橋梁添架物		○		○
			D015	橋梁上部工		○		○
			D017	橋梁径間			○	○
			D016	橋梁下部工		○		○
			D019	橋梁塗装歴		○		○
			D01A	橋梁補修歴		○		○
			D01D	橋梁点検補修		○		○
	D020	橋側歩道橋	D020	橋側歩道橋基本	○			○
			D021	橋側歩道橋幅員構成		○		○
			D022	橋側歩道橋高欄防護柵		○		○
			D023	橋側歩道橋交差状況		○		○
			D024	橋側歩道橋添架物		○		○
			D025	橋側歩道橋上部工		○		○
			D027	橋側歩道橋径間			○	○
			D026	橋側歩道橋下部工		○		○
			D029	橋側歩道橋塗装歴		○		○
			D02A	橋側歩道橋補修歴		○		○
			D02D	橋側歩道橋点検補修		○		○
			D030	横断歩道橋基本	○			○
	D030	横断歩道橋	D032	横断歩道橋塗装歴		○		○
			D033	横断歩道橋補修歴		○		○

表3 道路施設基本データの作成対象となる道路施設詳細表(2/2)

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類			四国地整備情報
					親	子	孫	
構造物	D040	トンネル	D040	トンネル基本	○			○
			D042	トンネル補修歴		○		○
	D050	洞門	D050	洞門基本	○			○
			D052	洞門補修歴		○		○
	D060	スノーシェッド	D060	スノーシェッド基本	○			○
	D070	地下横断歩道	D070	地下横断歩道基本	○			○
			D072	地下横断歩道補修歴		○		○
	D080	道路BOX	D080	道路BOX基本	○			○
	D090	横断BOX	D090	横断BOX基本	○			○
	D100	パイプカルバート	D100	パイプカルバート基本	○			○
	D120	擁壁	D120	擁壁基本	○			○
	D140	消波工	D140	消波工基本	○			○
付属物及び付帯施設	E010	防護柵	E010	防護柵基本	○			○
			E012	防護柵補修歴		○		○
	E020	道路照明	E020	照明基本	○			○
	E030	反射式視線誘導標	E030	反射式視線誘導	○			○
	E040	自光式視線誘導標	E040	自光式視線誘導基本	○			○
	E050	道路標識	E050	標識基本	○			○
			E051	標識各板諸元		○		○
	E060	道路情報板	E060	情報板基本	○			○
	E070	交通遮断機	E070	交通遮断機基本	○			○
	E080	I.T.V	E080	ITV基本	○			○
	E090	車両感知器	E090	車両感知器基本	○			○
			E092	車両感知器補修歴		○		○
	E100	車両諸元計測施設	E100	車両計測基本	○			○
	E110	気象観測施設	E110	気象観測基本	○			○
	E120	災害予知装置	E120	災害予知装置基本	○			○
	E130	自動車駐車場	E130	自動車駐車場基本	○			○
	E140	自転車駐車場	E140	自転車駐車場基本	○			○
	E150	雪崩防止施設	E150	雪崩防止基本	○			○
	E160	落石防止施設	E160	落石防止基本	○			○
	E170	消雪パイプ	E170	消雪パイプ基本	○			○
	E180	ロードヒーティング	E180	ロードヒーティング基本	○			○
	E190	除雪ステーション	E190	除雪ST基本	○			○
	E210	共同溝	E210	共同溝基本	○			○
			E211	共同溝占用物		○		○
	E220	CAB電線共同溝	E220	CAB電線共同溝基本	○			○
			E221	CAB電線共同溝占用物		○		○
	E230	植栽	E230	植栽基本	○			○
			E231	植栽樹木種別		○		○
	E240	遮音施設	E240	遮音施設基本	○			○
	E250	遮光フェンス	E250	遮光フェンス基本	○			○
	E270	流雪溝	E270	流雪溝	○			○
	E330	光ケーブル	E330	光ケーブル基本	○			○
			E331	光ケーブル用途		○		○
			E334	光ケーブル端局		○		○
	E350	ビーコン	E350	ビーコン基本	○			○

5.4. 各施設データの作成の注意点について

(1) データ区分

データ区分	区分内容
新設	新しい施設を設置した場合
改良	既設に対し、改良および補修を行った場合
撤去	既設を取り除いた場合

注) 移設は移設元を「撤去」、移設先を「新設」としてそれぞれ作成する。

(2) 工事情報登録

「工事名」「工事番号」「会社名」「現場代理人」「TEL」

なお、「工事番号」については「工事設計書番号」(工事契約コード)であるか確認する。

(3) 現旧区分

現旧区分が明確でない場合は、監督職員に確認すること

区分	区 分 内 容
現道	現道とは、旧道及び新道以外の道路
旧道	旧道とは、バイパス等の建設に伴い建設前の道路が、他の道路として編入されずに存在する場合の元の道路
新道	新道とは、バイパス部分が現道に連結されないで部分的に供用されている区間

(4) 名称

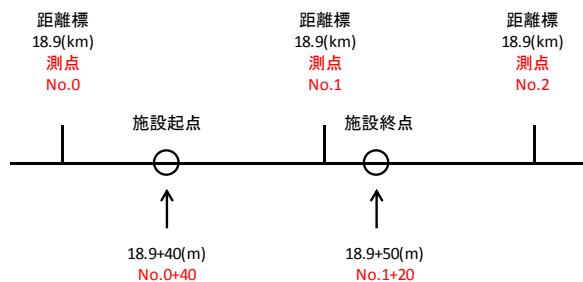
該当する施設の名称を、10 文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字)で入力する。

名称がない場合は、設置箇所の地先名(市区町村名以降の字から)等を記入する。

(5) 距離標

該当する施設位置の距離標(自)(至)を入力する。

※未供用道路等、距離標がない場合は工事測点番号を入力する。



項 目	距離標	測点
百米標(自)	18.9Km	0.0Km
百米標(自)からの距離	40m	40m
百米標(至)	19.0Km	1.0Km
百米標(至)からの距離	20m	20m

(6) 備考

当該工事名を必ず入力する。

特別な注意点及び特殊な事柄等あれば、自由に入力可能である。(50 文字以内)

「選択コード」でその他を選んだ場合は必ず詳細内容を入力する。

(例: 平成〇〇年度 〇〇設置工事 設置目的=立入防止)

(7) その他、入力項目について

- ①入力値が分からない(不明)の場合は「？」を入力する。
- ②該当がない場合は「＊」を入力する。
- ③「出張所」「路線」「現旧区分」は入力必須項目である。
- ④他の項目については、「形式」・「種別」等、施設を特定できるものは全て入力する。
- ⑤当該工事で施設を完成した場合は、施設完成年度及び完成年月を入力。改修した場合は、施設改修年度を入力する。

5.5. 工事種別によるデータ作成上の注意事項

(1) 多年度に亘る工事の場合

橋梁、橋側歩道橋、トンネル、共同溝のような大規模工事では、工事が多年度に亘る場合がある。これらの工事に対しては、以下に示す手順でデータ作成する。

- ①施設基本データは、工事施工業者が作成する。
- ②作成した施設基本データは、年度単位に管理担当課が供用前データとして別途管理して、次年度の業務が発注される際に工事施工業者に前年度施設基本データを渡すことにより、年度単位の作成データを確実に管理する。
- ③最終的な取りまとめ作業は、工事完成後、管理担当課が行い、年度別の実施した工事データの整合を図る。

(2) 施工段階毎に複数の施工業者が携わる工事の場合

例えば、橋梁及び橋側歩道橋の工事では、下部工、上部工、付帯設備等の施工段階毎に、複数の施工業者が携わる場合がある。これらの工事に対しては、以下に示す手順でデータを作成する。

- ①下部工、上部工、付帯設備等については、各々、担当した工事施工業者が施設基本データを作成する。
- ②重複や抜けが懸念される部分(基本諸元部)は、工事担当課が統一的に作成する。
- ③最終的な取りまとめ作業は、工事完成後、管理担当課が行い、完成した構造物のデータの一貫性を確保する。

(3) 工事区間を分割して行う工事の場合

新設のバイパス工事や大規模構造物の工事では、工事区間を分割して工事を行う場合がある。これらの工事に対しては、以下に示す手順でデータ作成する。

- ①道路施設基本データは、工事施工業者が作成する。
- ②工事全体の整合性は、工事担当課が調整する。
- ③最終的に一つに取りまとめる作業は、工事完成後、管理担当課が行う。
- ④関連工種としては、以下の工種が考えられる。

＜大規模な構造物＞

- | | | |
|-----|--------|-------|
| ・橋梁 | ・橋側歩道橋 | ・トンネル |
|-----|--------|-------|

＜延長方向に連続する工種＞

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| ・歩道及び自歩道 | ・独立専用自歩道 | ・遮光フェンス |
| ・環境施設帯 | ・中央帯 | ・擁壁 |
| ・防護柵 | ・視線誘導標(反射式) | ・落石防止施設 |
| ・植栽 | ・遮音施設 | ・光ケーブル |

(4) ある区間を年間で一括発注する工事の場合

ある区間を年間で一括発注する工事の場合、以下に示す手順でデータ作成する。

①通常工事と同様、年間の契約期間が終わった時点で、一括して提出させる。

②工事箇所が認識できるように、作成データと共に、工事箇所図及びイメージデータ(写真、一般図等)を提出させる。

(5) 延長方向に連続する工種に対する維持・修繕工事の場合

延長方向に連続する工種に対する維持・修繕工事では、部分的な修繕等を行う際、以下に示す手順でデータ作成する。

①工事施工業者は、既存の道路施設基本データに対して、変更したものを提出する。

(変更箇所が分かるもの)

②実際の更新データの取りまとめは、管理担当課が変更された基本データをもとに行う。

5.6. 工事施工業者が作成できない項目

工事施工業者ではデータ作成が困難な項目については、別途、工事担当課、管理担当課がデータ作成する。

①工事担当課がデータ作成する項目:「附図」「協議協定関係資料」や工事完成後に得られる項目。

②管理担当課がデータ作成する項目:供用開始年月日等

5.7. 管理区間を他機関へ移管または廃道とする場合

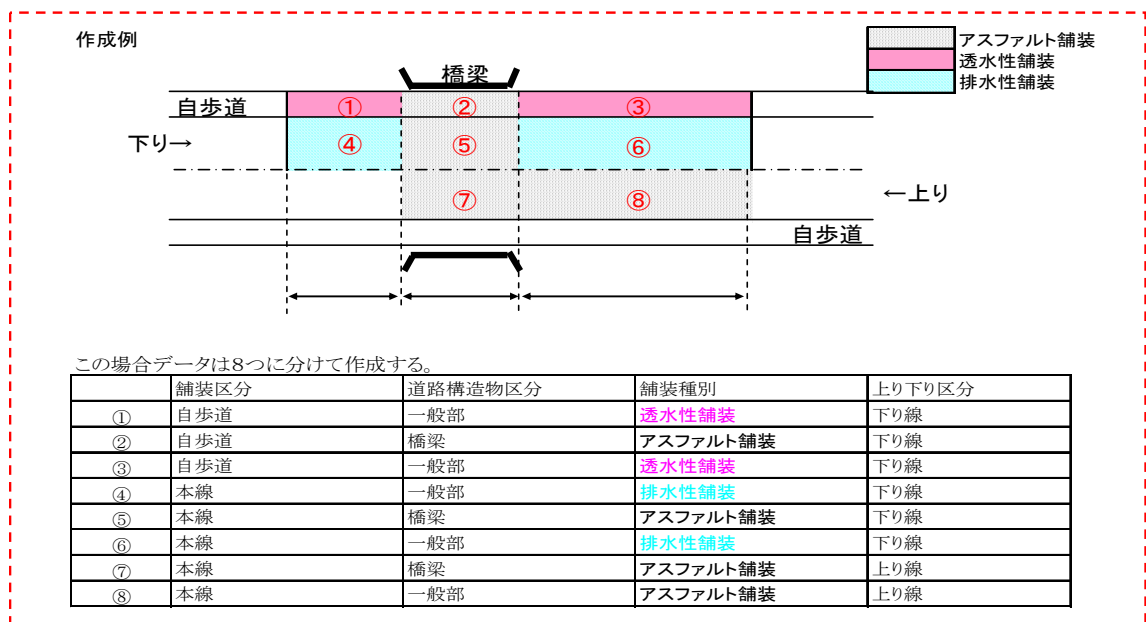
バイパス・局部改良等の完成により、管理道路を他機関へ移管または、廃道とする場合は、工事担当課と管理担当課で調整を行い、既存道路施設基本データを廃止する。

5.8. 各施設毎の注意点

(1) C050 舗装

舗装データは、上下線別々に作成すること。

また、歩道部についても上下線別々に歩道部のみで作成すること。



(2) C080 步道自步道

歩道等種別の考え方

- ①「歩道」……歩行者のみ通行可能な歩道(目安—幅員 1.75m 以下)
 ②「歩道+自転車道」……歩道と自転車道が段差等により区画されている歩道
 ③「自転車歩行者道」……歩行者及び自転車の通行が可能な歩道
 ( ←標識があるような歩道)

切り下げ箇所数の考え方

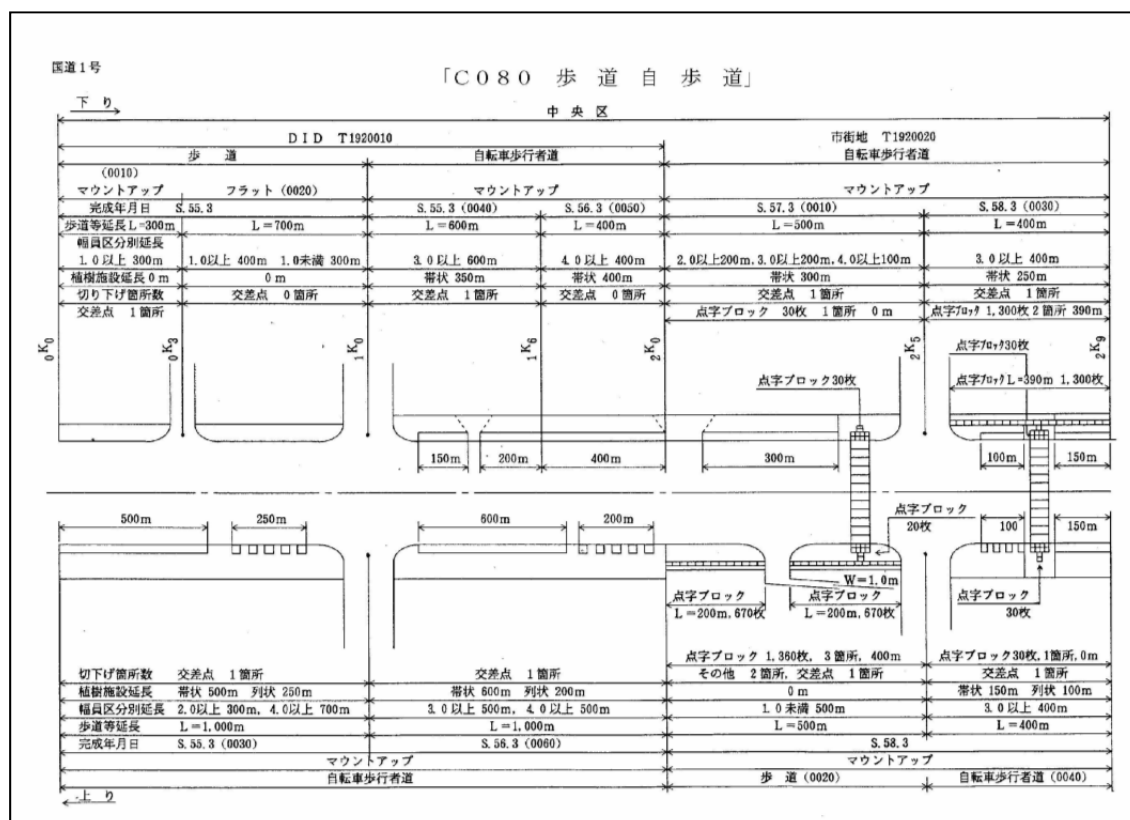
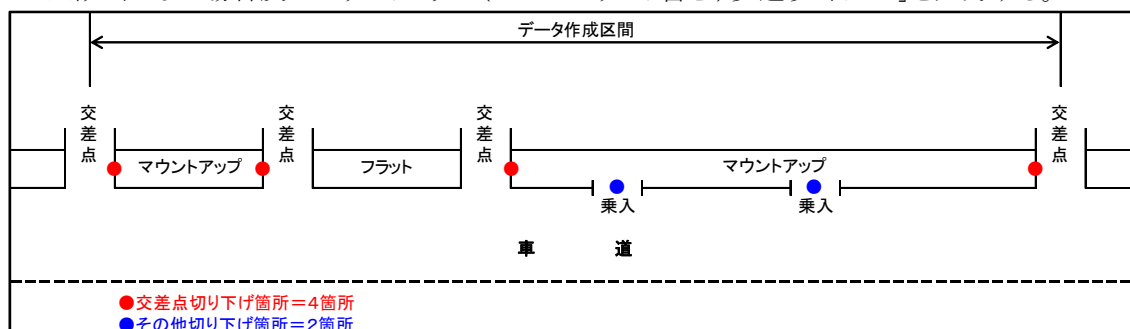
- ### ①「交差点部切り下げ箇所数」の考え方

該当区間がマウントアップ、ハーフマウントの場合で、交差点により歩道が切り下げられている箇所数を入力する。

- ## ②「その他切り下げ箇所数」の考え方

該当区間がマウントアップ(ハーフマウント含む)の場合で、私道等により歩道が切り下げられている箇所数を入力する。(交差点部以外)

※該当しない場合及びマウントアップ(ハーフマウント含む)歩道以外は「*」を入力する。



(3) D010 橋梁

橋梁工事のように複数の工事に関わる場合のデータ作成は、基本的には以下の表「各橋梁工事と対象施設一覧」のように考えるものとするが、工事の内容により組合せ以外の該当工種もあるので注意が必要である。

なお、「基本諸元」については全ての工事で必須となる。

各橋梁工事と対象施設一覧

施設名	下部工工事	上部工工事	床版工事	舗装工事	付帯工事	塗装工事	補修工事	点検補修工事	舗装修繕工事	添架物工事
橋梁(基本諸元)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
橋梁(幅員構成)			△	○					△	
橋梁(高欄・防護柵)		△			○		△	△		
橋梁(交差状況)		○								
橋梁(添架物)		△								○
橋梁(上部工)		○	○				△	△		
橋梁(下部工)	○									
橋梁(径間)		○					△	△		
橋梁(塗装歴)						○				
橋梁(補修歴)							○	○	○	
橋梁(点検補修)								○		

※ △は工事内容によっては対象となるもの

※ 主な補修工事と対象工種の関係

- | | | |
|-------------|---|--|
| ・ 伸縮装置の施工 | → | 上部工データと補修歴 |
| ・ 落橋防止装置の施工 | → | 径間データと補修歴 |
| ・ 支承の取替え | → | 径間データと補修歴 |
| ・ 高欄の取替え | → | 高欄・防護柵データの削除および新規と補修歴
また、E010防護柵データの削除および新規データの作成 |
| ・ オーバーレイ工 | → | 橋梁補修歴 と C050舗装データの更新 |
| ・ 床版打換え工 | → | 上部工データと補修歴 |

① 橋梁幅員入力時の取り決め事項(D011)

橋梁幅員構成の「全幅員」は「左側地覆幅」「左側歩道幅」「左側路肩幅」「左側車道幅」「中央帯」「右側地覆幅」「右側歩道幅」「右側路肩幅」「右側車道幅」を合計した値とする。

②橋梁高欄防護柵に関する取り決め事項

各ケースによる高欄防護柵の設置箇所について下記に定める。(例1～例7)

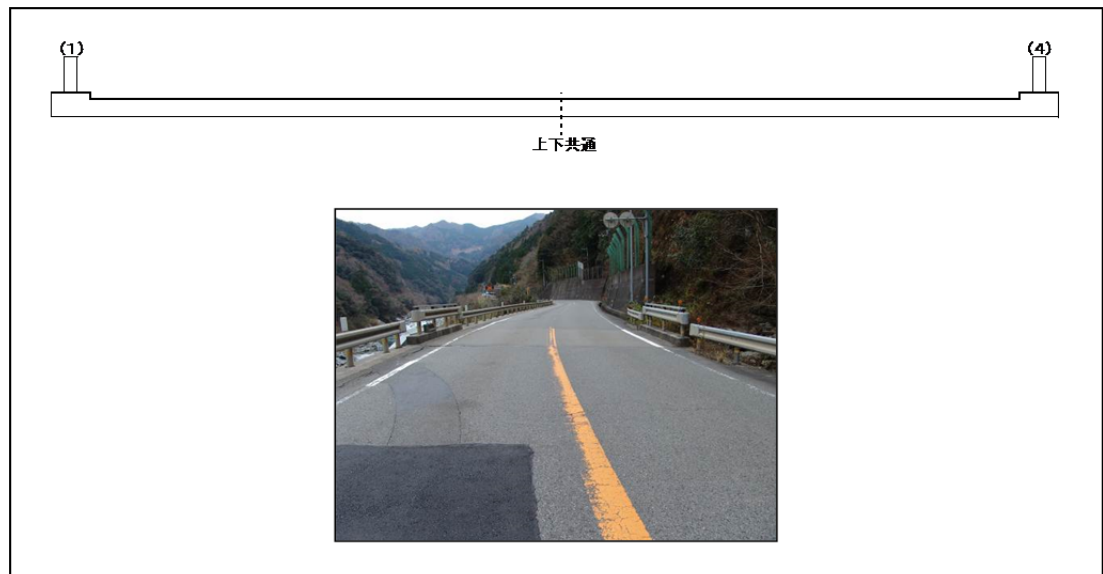
高欄・防護柵の設置箇所が下表の「コード2」または「コード5」の場合のみを高欄とする。

従って、設置箇所がコード2または5以外の場合は E010 防護柵台帳の作成も必要となる。

(起点から見て左側・右側とする)

区分		コード
左	車道端	1
	歩道端	2
	歩車道境界	3
右	車道端	4
	歩道端	5
	歩車道境界	6
中央分離帯		0

例1) 上下線共通(2車線)左右共に車道端の場合



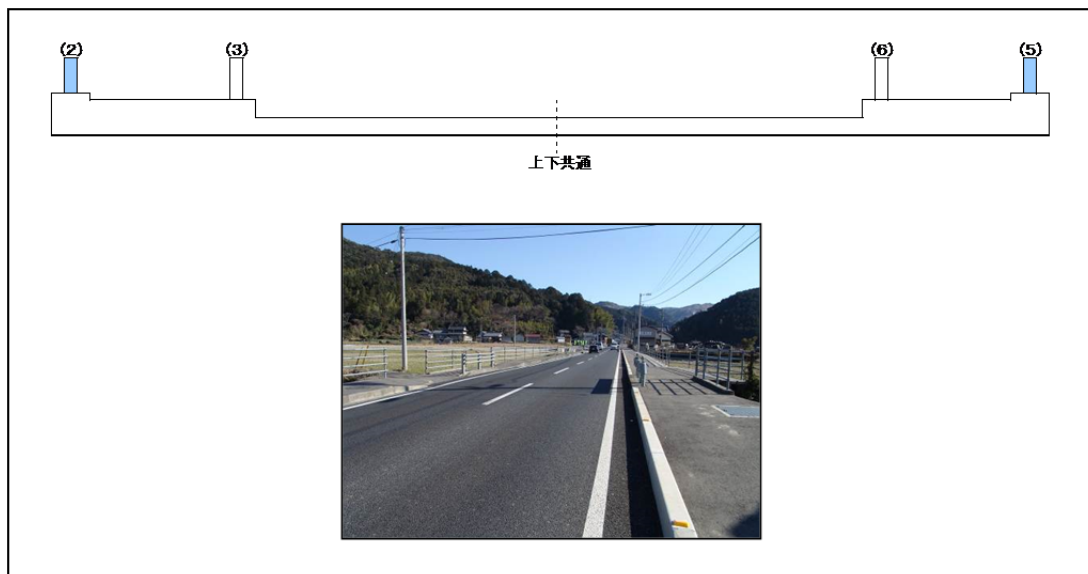
例2) 上下線共通 (2車線) 左側が歩道端で右側が車道端の場合



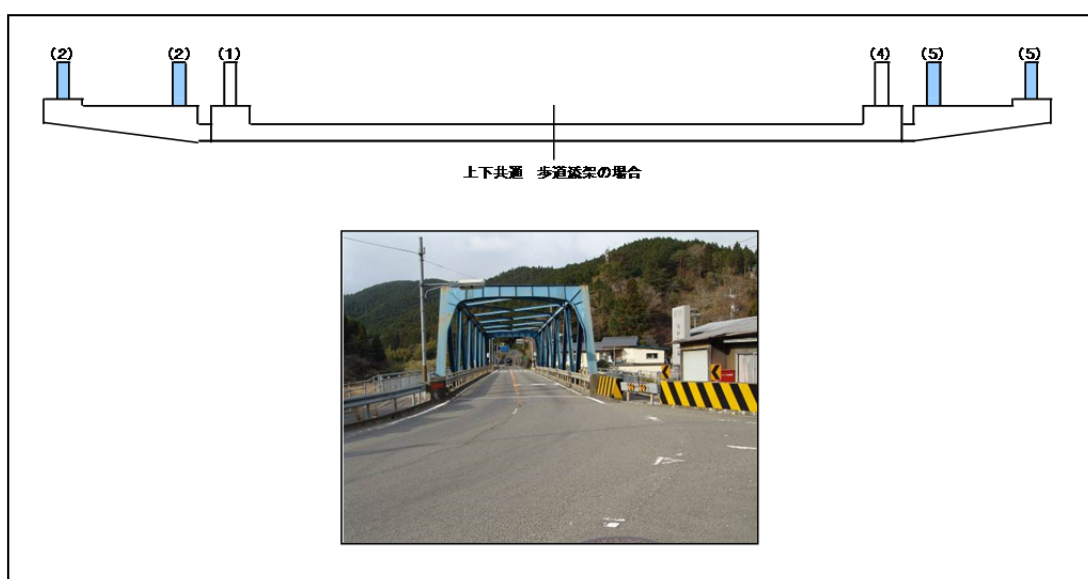
例3) 上下線共通 (2車線) 左側が車道端で右側が歩道端の場合



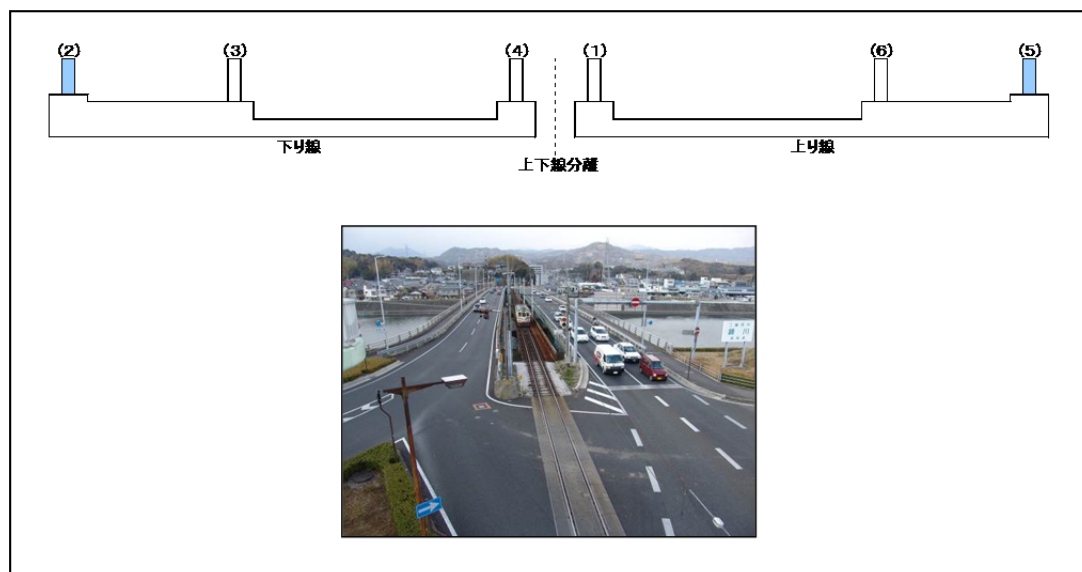
例4) 上下線共通(2車線) 右側、左側共に歩道端、歩道境界に設置の場合



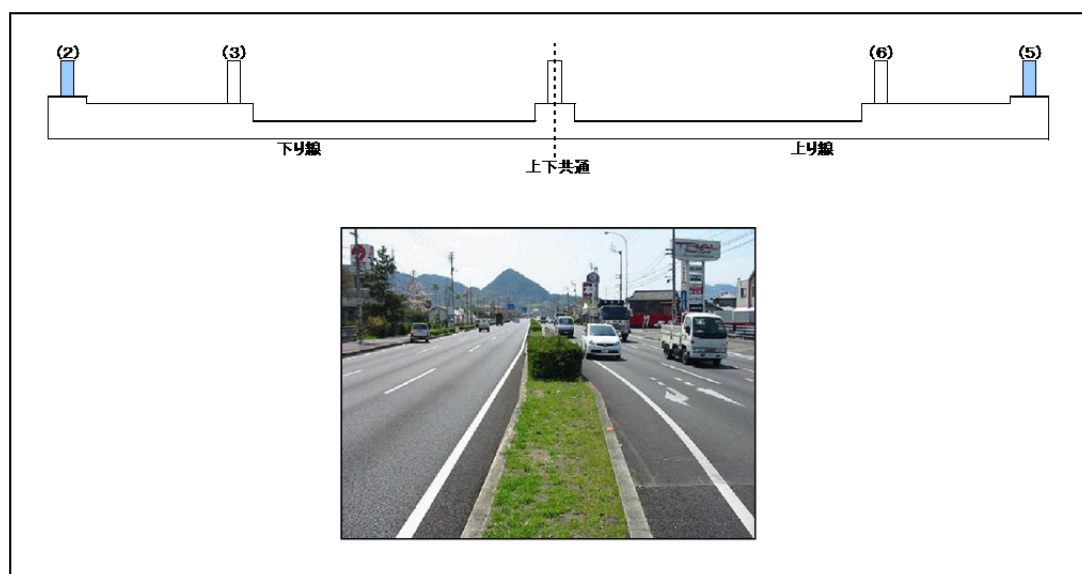
例5) 上下線共通(2車線) 上下線共通で歩道添架の場合



例6) 上下線分離で左右共に歩道がある場合

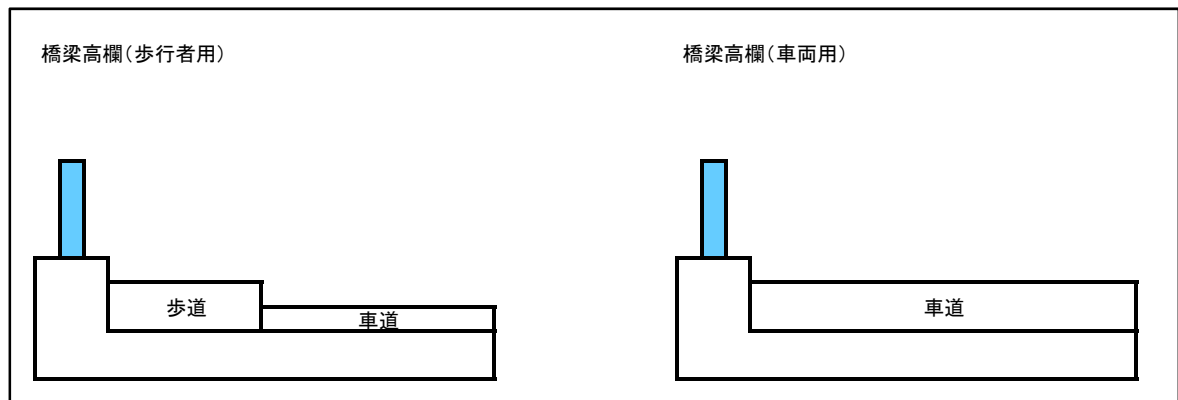


例7) 上下線共通で左右共に歩道がある場合



③高欄防護柵について

防護柵種別の“高欄”とは、歩行者用防護柵を意味し、車両用防護柵(壁高欄等)の防護柵種別は全て“防護柵”となり「E010 防護柵基本」で詳細を作成する。



(4) D040 トンネル

トンネル警報表示板について



左記の様な、トンネル前後にある警報表示板は、道路情報板として作成しない。トンネルの付属施設としてデータ作成する。

(5) D090 横断BOX

対象とする横断BOX

- ①ボックスカルバート、門形カルバート及びアーチカルバート。
- ②道路(歩道を含む)を縦横断しているもの。

(6) D100 パイプカルバート

対象とするパイプカルバート

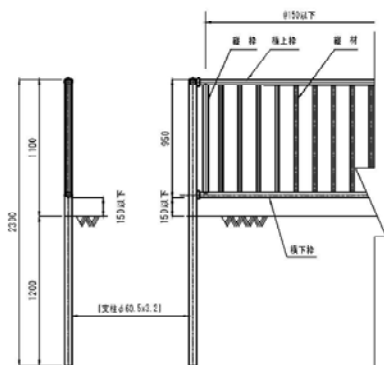
- ①管理する道路に埋設されている縦横断管渠で直径 250mm 以上を対象とする。
- ②路面排水のため路肩排水枡と歩道外の側溝をつなぐ横断管渠は対象外とする。

(7) E010 防護柵

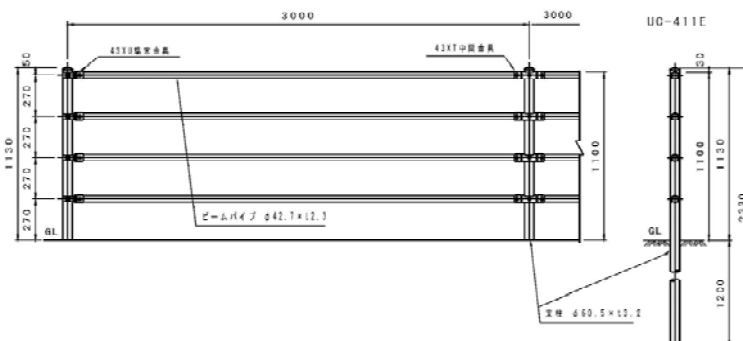
以下のような転落防止柵は「P種」とする。

※コードは「410」を使用

轉落防止柵



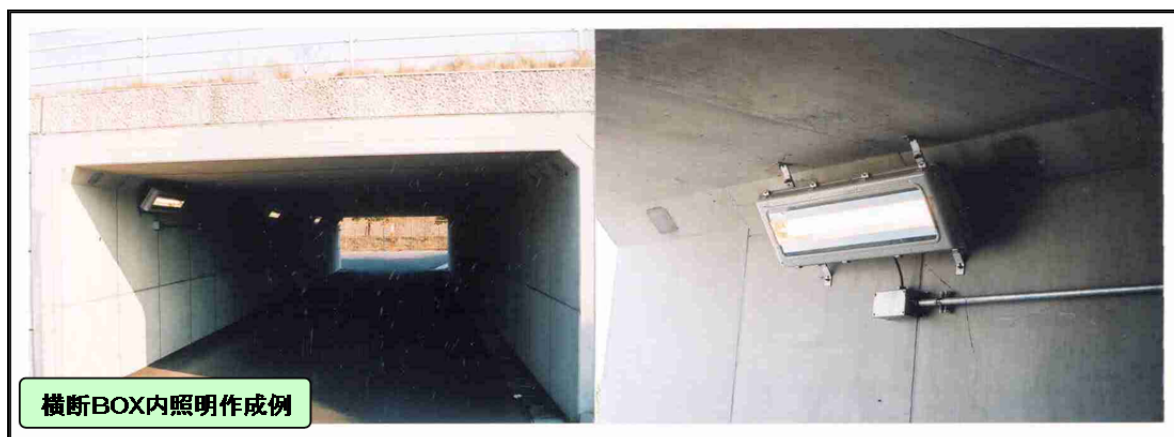
轉落防止柵



(8) E020 道路照明

①「管理番号」この項目には照明の管理番号(灯柱番号)を入力する。

②トンネル内、横断BOX等内に添架されている照明は、1施設とする。



(9) E040 視線誘導標(自光式)

視線誘導標(自光式)の対象となる施設は、自立した支柱を持つものとする。

対象: プリンカーライト



ある区間に連続してある場合は、その区間を1件(1箇所)としてデータを作成する。

対象: 自立式支柱



対象: 発光板



(10) E050 道路標識

通常の標識以外に、以下のような施設は標識としてデータを作成する。

その場合の標識種類番号は「999.その他」とする。

対向車注意表示板等



警戒情報表示板等



一部電光式表示板等



太陽電池式:情報表示板等



(11) E060 道路情報板

以下のような情報板の取り扱いについて。

駐車場案内板



左記の様な、駐車場案内板は、情報板種別「5.駐車場案内板」としてデータを作成する。

(12) E110 気象観測

以下のような表示板は気象観測として作成すること。

気象情報表示板等

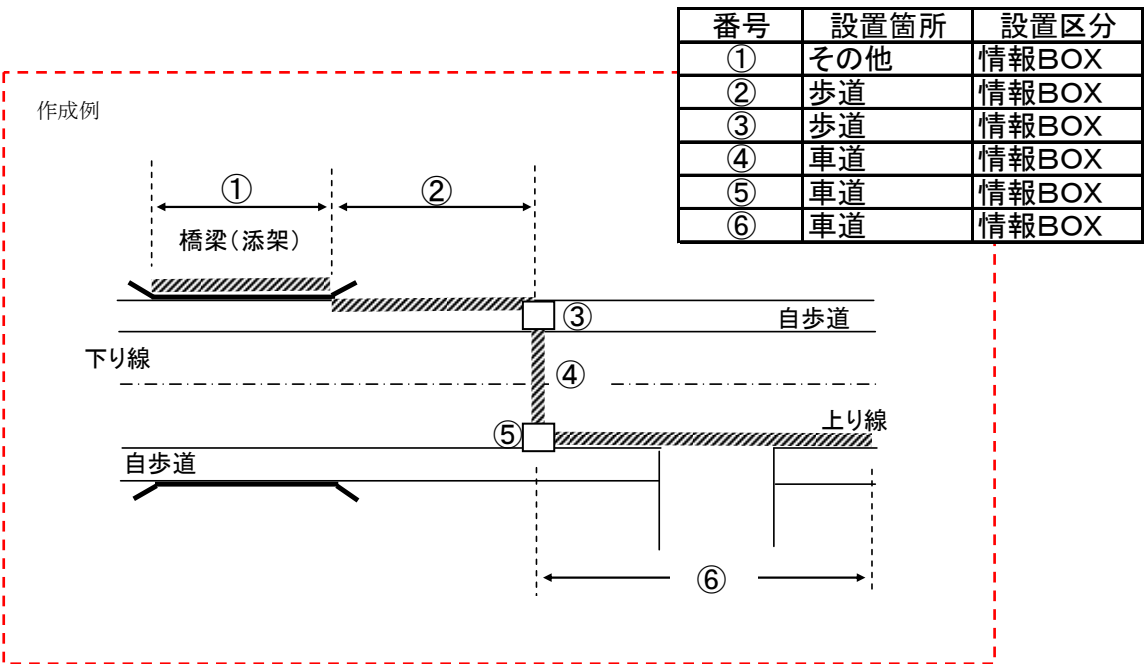


気象情報表示板等



(13) E220 CAB電線共同溝

CAB電線共同溝の作成単位は以下のように考えるものとする。



マンホールもしくは接続箱等が入り、道路状況が確認できる写真



現況写真例

5.9. イメージデータ作成

(1) 図面及び現況写真作成項目

表4「施設別現況写真・図面種別一覧表」は、道路施設基本データ毎に作成する現況写真・図面の一覧表である。

施工した道路施設の現況写真・各図面を用いて、現況写真及び図面を作成する。

表4 施設別現況写真・図面種別一覧表

No.	入力書式名	現況写真	撮影方法 タイプ	位置図	平面図	標準 断面図	一般図	舗装 構成図	交差点 詳細図	排水 系統図	正面図	構造物 詳細図	情報可 容内容 一覧表	システム 系統図	転送 系統図	井戸 構造図	地質 柱状図	備考
1	舗装	○	A	○	○	○	○	○										
2	道路交差点	○	D(1)	○			○		○									
3	鉄道交差点	○	D(2)	○			○											
4	橋梁	○	C(1)	○	○	○	○					○						現況写真は、側面・正面・床版下を撮影
5	橋脚歩道橋	○	C(1)	○	○	○	○											現況写真は、側面・正面・床版下を撮影
6	橋脚歩道橋	○	C(1)	○	○	○	○											
7	トンネル	○	C(2)	○	○	○	○											
8	洞門	○	C(2)	○	○	○	○											
9	スノーシェッド	○	C(2)	○	○	○	○											
10	地下横断歩道	○	C(2)	○	○	○	○											
11	道路BOX	○	C(2)	○	○	○	○											
12	横断BOX	○	C(3)	○	○	○	○											
13	バイパスカルバート	○	C(3)	○	○	○	○			○								排水系統図は、水の流れを矢印で記載
14	擁壁	○	C(4)	○	○	○	○					○						
15	消波工	○	A	○	○	○	○											
16	防護柵	○	A	○	○	○	○											
17	道路照明	○	B(1)	○			○					○						
18	自光式視線誘導標	○	B(1)	○			○											
19	道路標識	○	B(2)	○			○					○						
20	道路情報板	○	B(1)	○			○					○		○				現況写真は、全周及び各標識板を撮影
21	交通遮断機	○	B(1)	○	○		○											
22	ITS	○	B(1)	○			○					○		○				
23	車両感知器	○	B(1)	○			○					○		○				
24	車両計測施設	○	D(3)	○			○					○						
25	気象観測施設	○	D(4)	○	○		○					○		○				
26	災害予知装置	○	D(3)	○			○					○		○				
27	自動車駐車場	○	D(5)	○	○		○					○		○				
28	自転車駐車場	○	D(5)	○	○		○					○		○				
29	雪崩防止施設	○	A	○	○		○					○						
30	落石防止施設	○	A	○	○		○					○						
31	消雪パイプ	○	D(6)	○	○		○					○				○	○	
32	ロードヒーティング	○	D(6)	○			○					○						
33	除雪ステーション	○	D(3)	○	○		○					○						
34	共同溝	○	D(6)	○	○	○	○					○						
35	CAB電線共同溝	○	D(6)	○	○	○	○					○						
36	種裁	○	A	○			○											
37	遮音施設	○	A	○			○											
38	遮光フェンス	○	A	○			○											
39	流雪溝	○	A	○	○		○					○						
40	光ケーブル	○	D(6)	○	○		○											
41	光ケーブル施設端局	○	B(1)	○	○		○					○						
42	ビーコン	○	B(1)	○			○					○						

※位置図と平面図が同レベルである場合は平面図は省略可。

(2) 図面データの作成仕様

工事成果品であるCADデータ等を利用して、表4「施設別現況写真・図面種別一覧表」で指定された図面類別毎に編集・加工を行い“**JPG データ**”を作成する。

ファイル名は、「本要領(P52) 7. 電子納品への道路施設基本データ格納」に従い、個別道路施設諸元サブフォルダ名に連番2桁を加え、「半角英数大文字8文字＋拡張子」とする。

(例:「E0200101.jpg」)

なお、CADデータがない場合は、下記の方法にてイメージデータ(図面)を作成する。

【イメージデータ(図面)の作成方法】

道路施設毎に指定された図面類を個々にスキャニング(表5「イメージファイルの詳細仕様」参照)しJPG データとして電子化する。その際、下記の点に注意する。

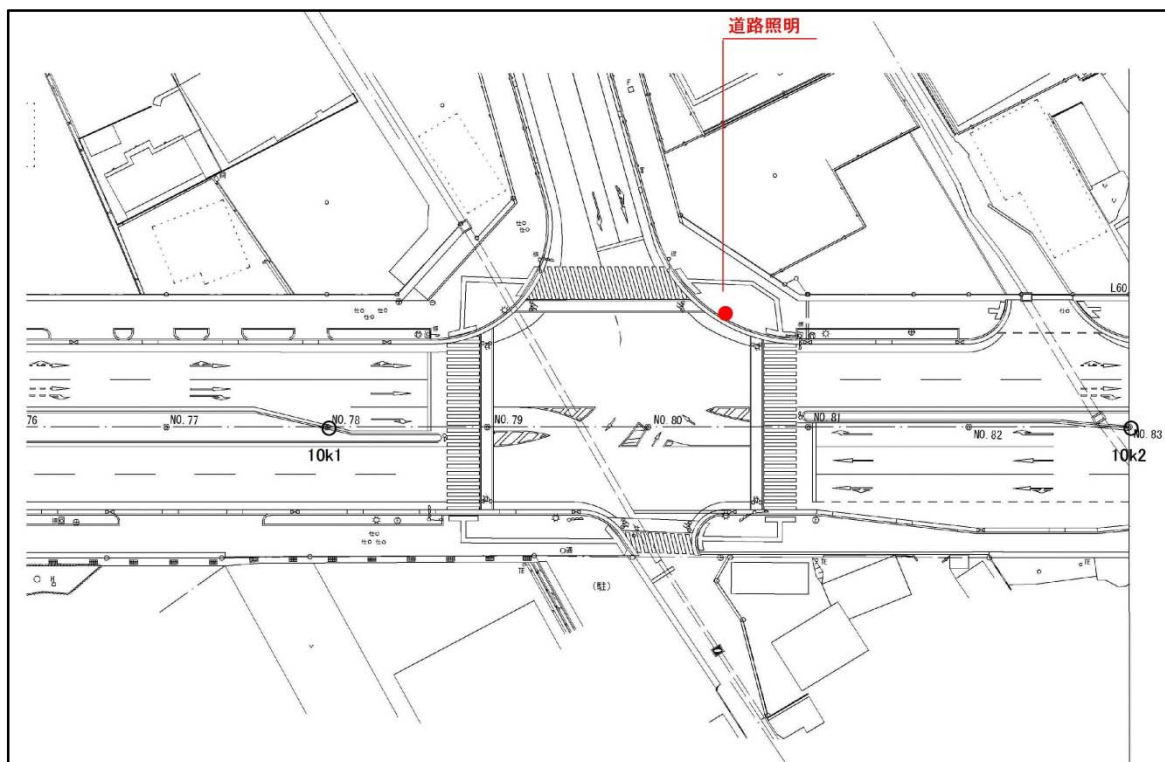
- ①不鮮明な図面は使用しないこと。
- ②施設と道路との位置関係が把握できること。
- ③道路線形、幅員構成等が把握できること。
- ④施設の断面図等により、高さ方向、交差状況の寸法が把握できること。
- ⑤平面図作成においては、作成対象施設の埋設の管路及び配管・配線 など(函渠及び占用物件などの埋設物以外)についても位置が把握できるよう作成すること。

表5 イメージファイルの詳細仕様

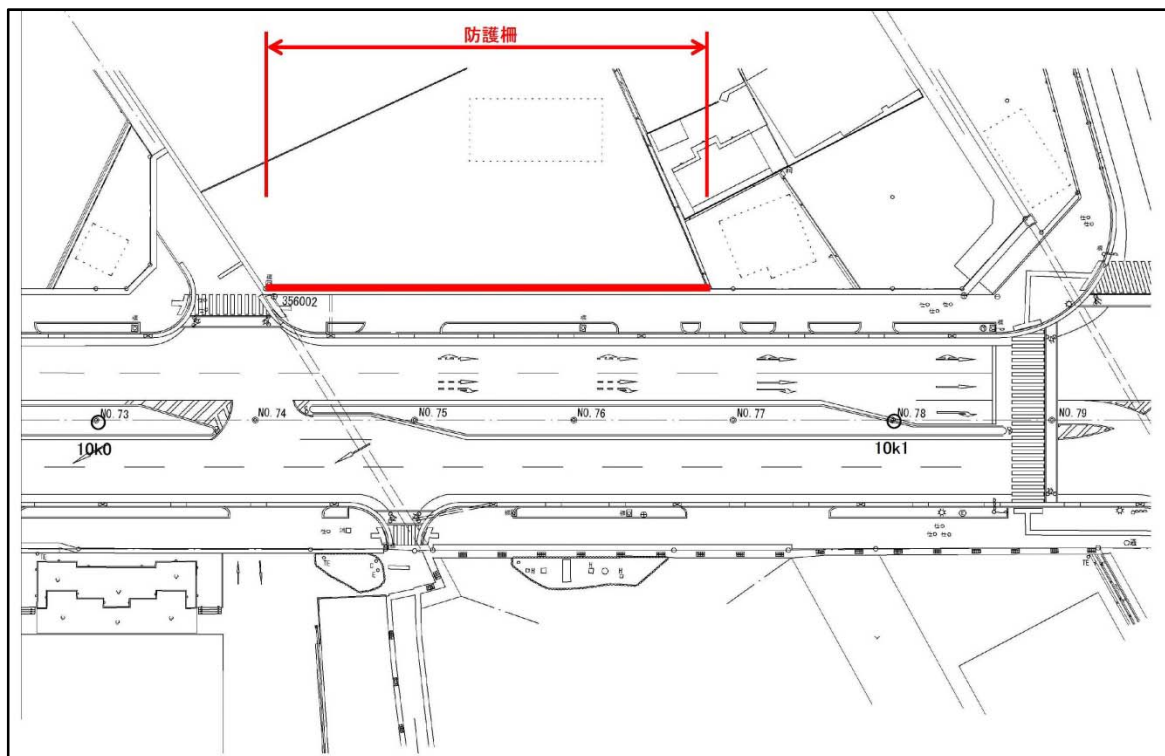
項目	図面	現況写真	
	スキャニングの場合	デジタルカメラ撮影の場合	スキャニングの場合
ファイル形式(圧縮形式)	JPG	JPG	JPG
階調(色数)	フルカラー	フルカラー	フルカラー
解像度	200dpi	100万画素程度	200dpi
圧縮レベル	50	50	50

(3) 図面類作成例

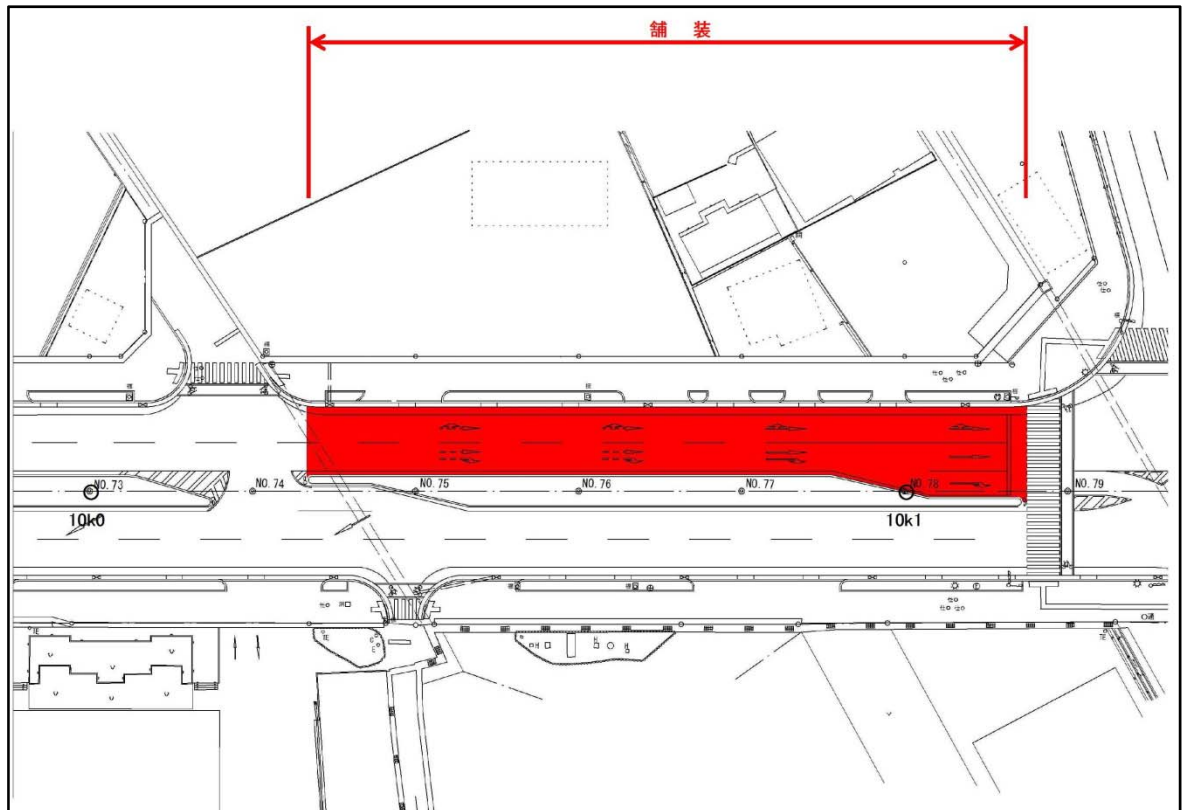
位置図(点施設)



位置図(線施設)

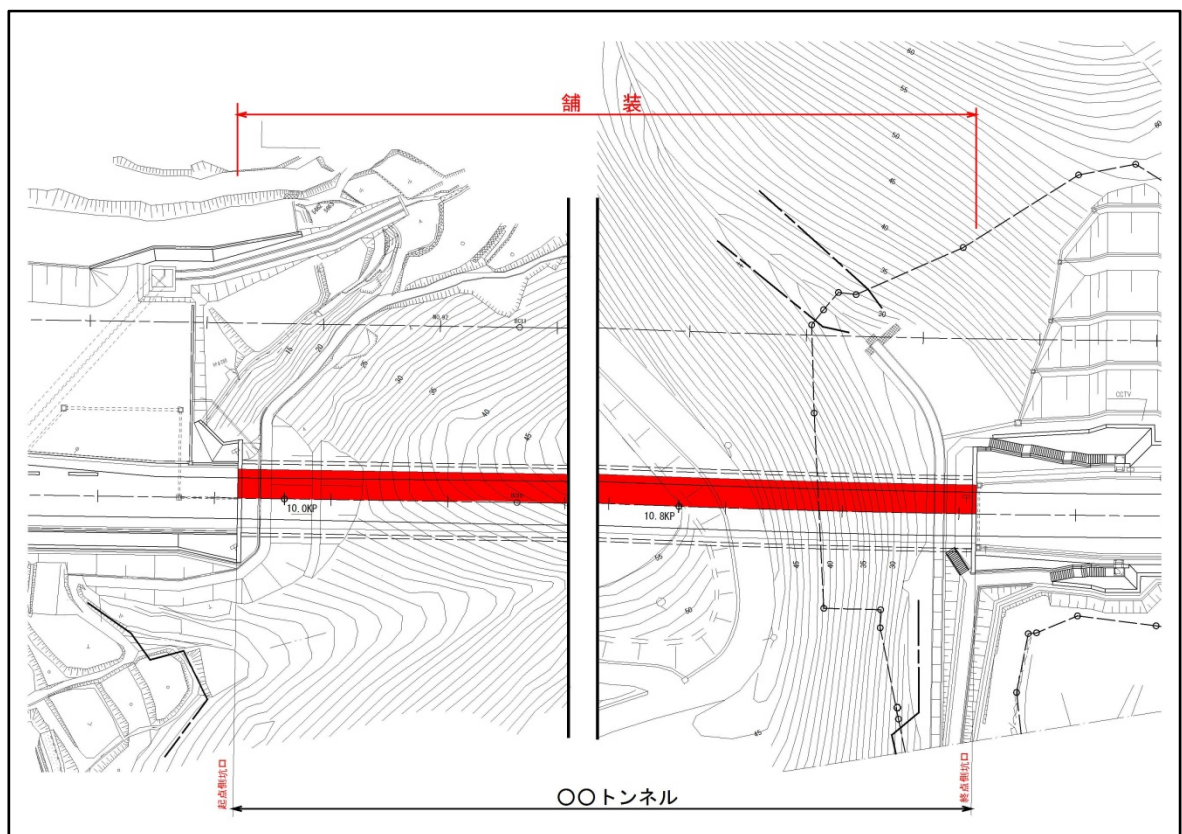


位置図(面施設)



位置図(延長の長い場合)

トンネル舗装等、施設延長が長い場合は中間図面を省略して作成する。



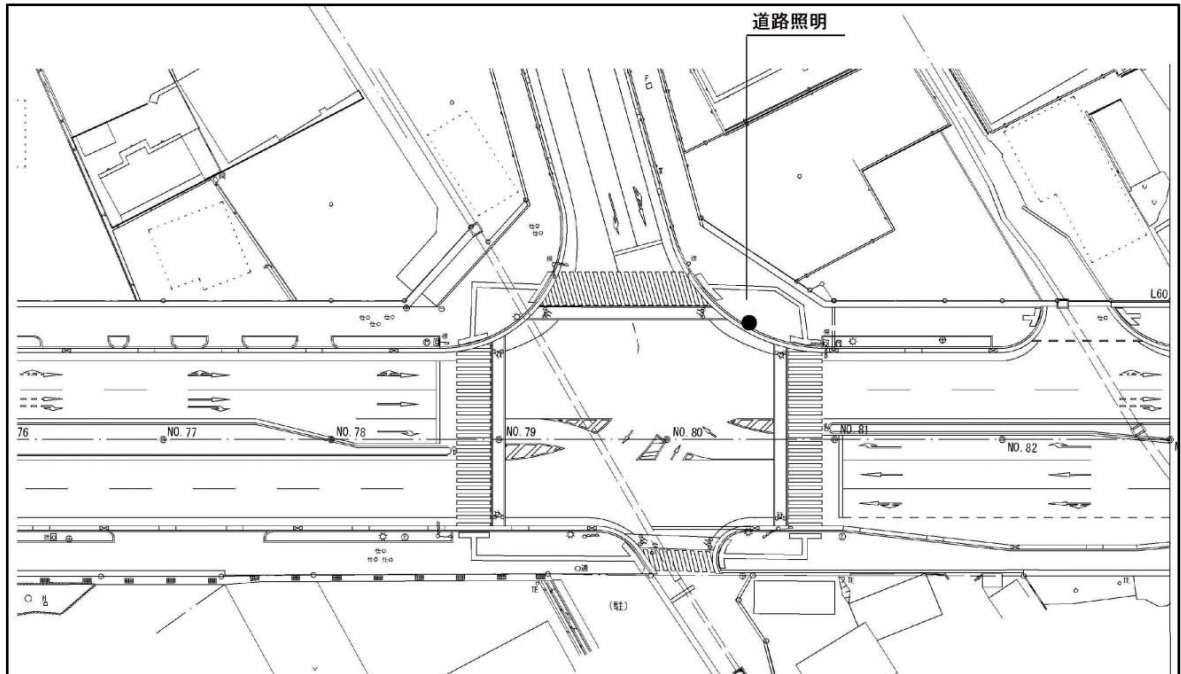
(4) 図面データ作成時の注意点

過去に作成された図面データの中で、不具合が指摘された事例(修正が必要な事例)を示す。

①距離標の明記及び施設の旗揚げが赤色で記載されていない。

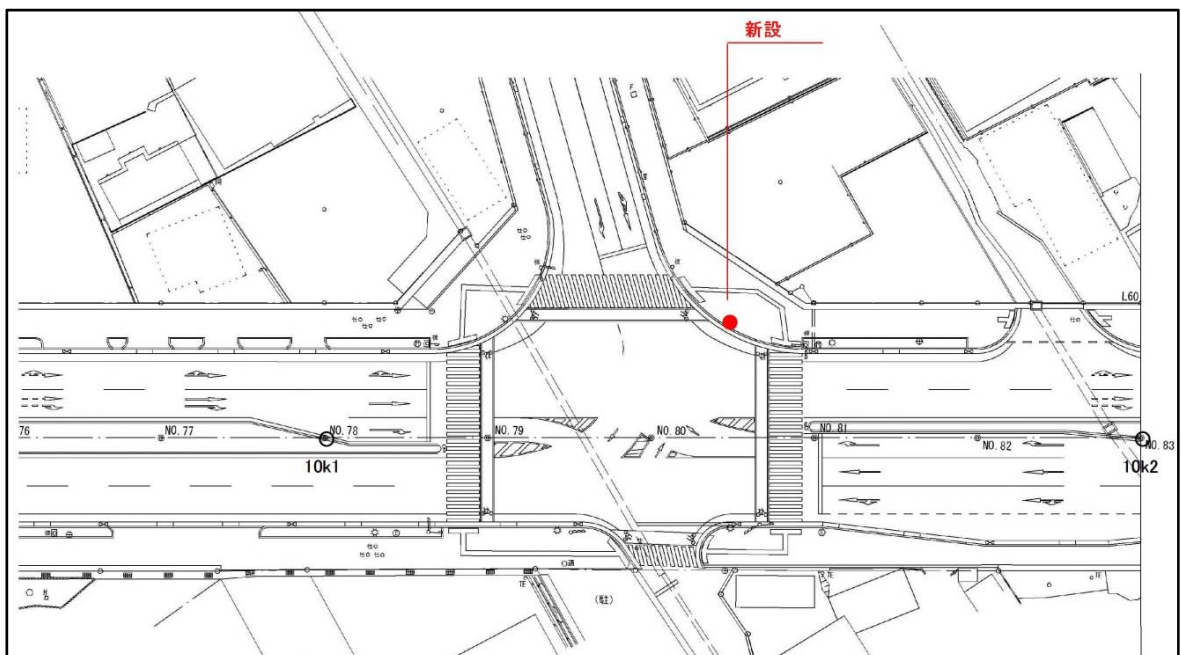
図面に距離標が無い場合、対象の道路施設が、どの位置に設置されているのか判断できないため、道路施設基本データ情報との整合確認がとれない。

※図面は原則道路台帳附図を使用する。(附図未作成の場合は工事平面図を利用する)



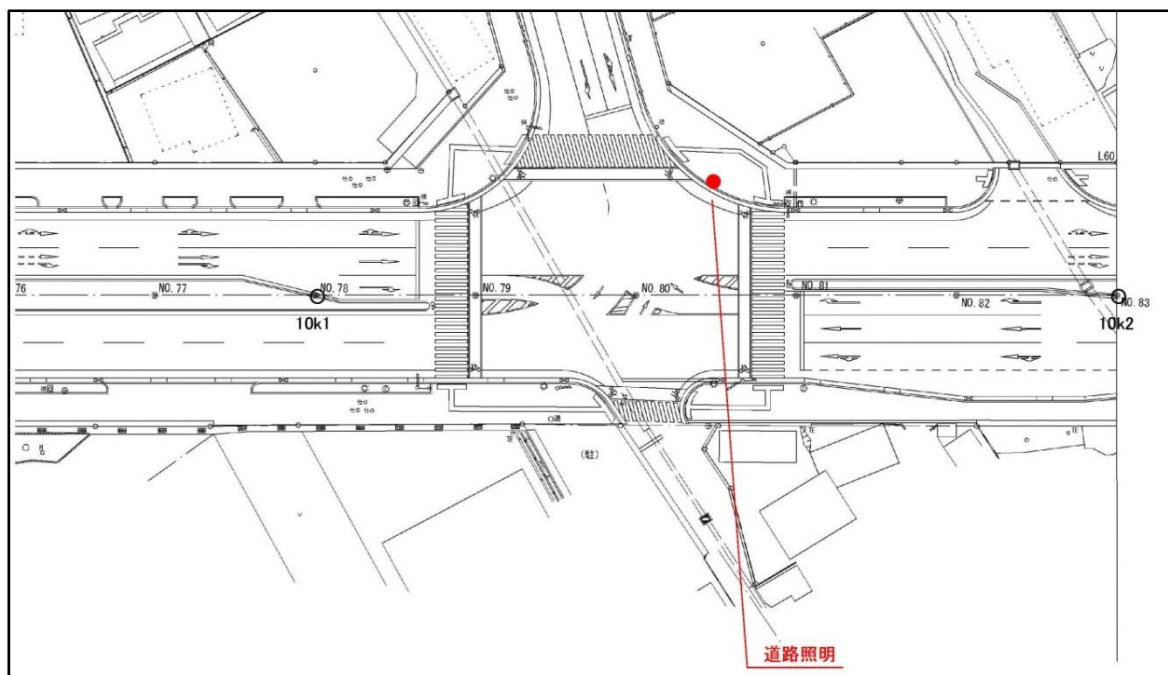
②道路施設の種別名称が記載されていない。

旗揚げにはデータ区分で無く道路施設の種別名称(道路照明, 道路標識等)を記載する。



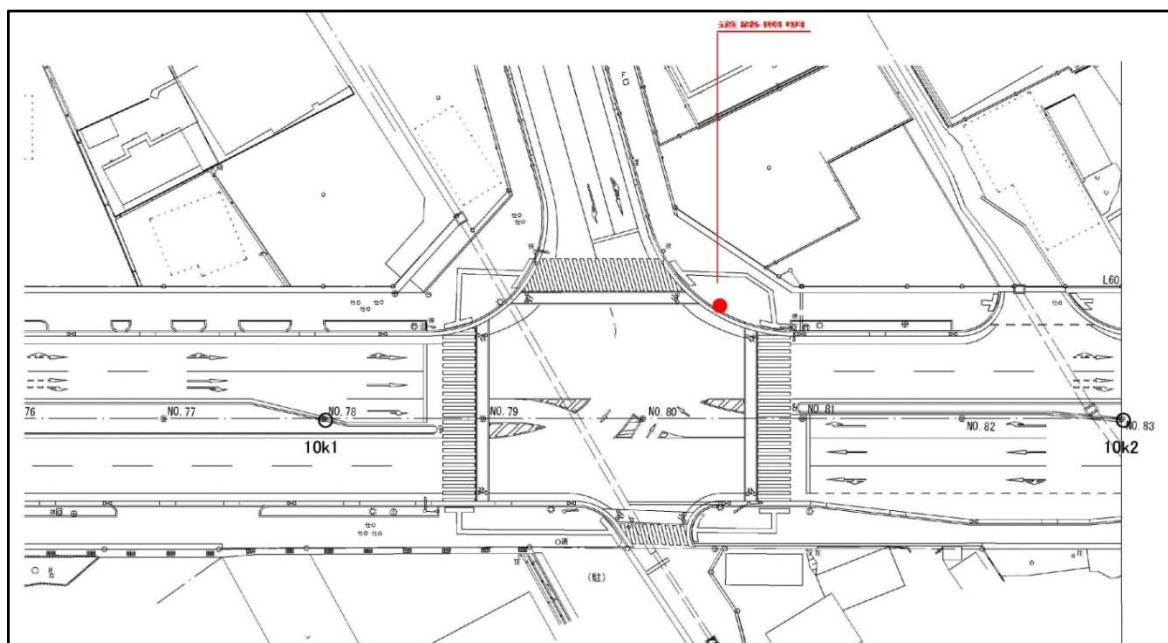
③道路施設の旗揚げが、道路の上り下り区分で記載されてない。

道路施設の設置位置が上り線の場合は、上り側に旗揚げする。(道路を跨いで旗揚げしない)



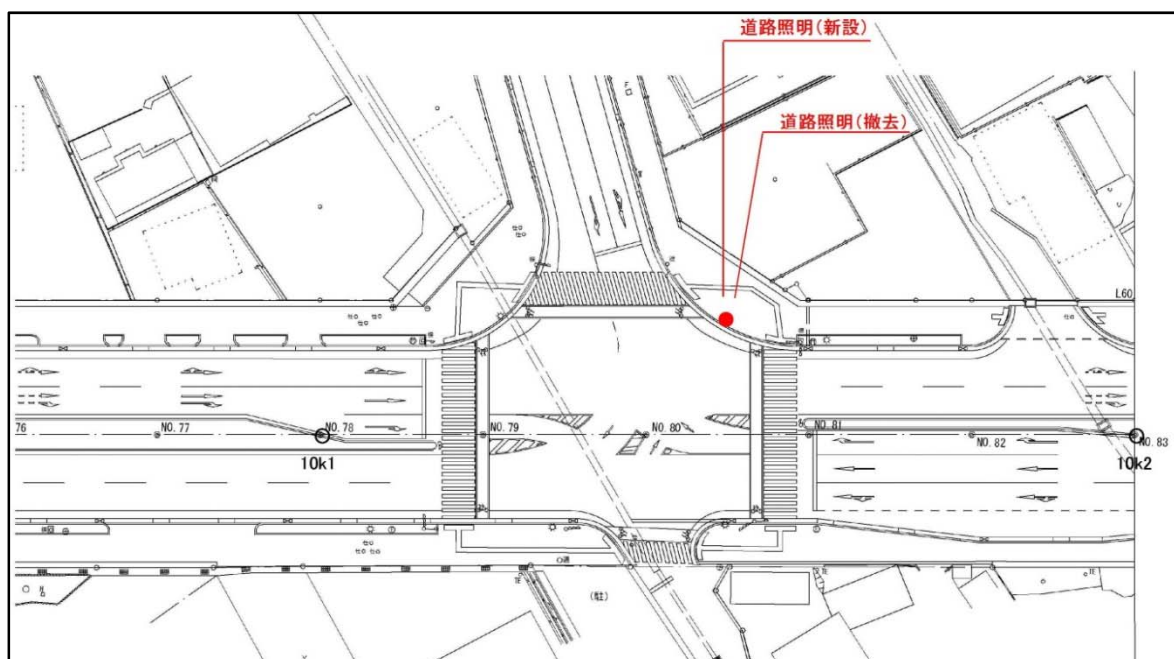
④文字が小さく、つぶれている。

図面に旗揚げした文字の大きさは、確実に見える大きさとする。



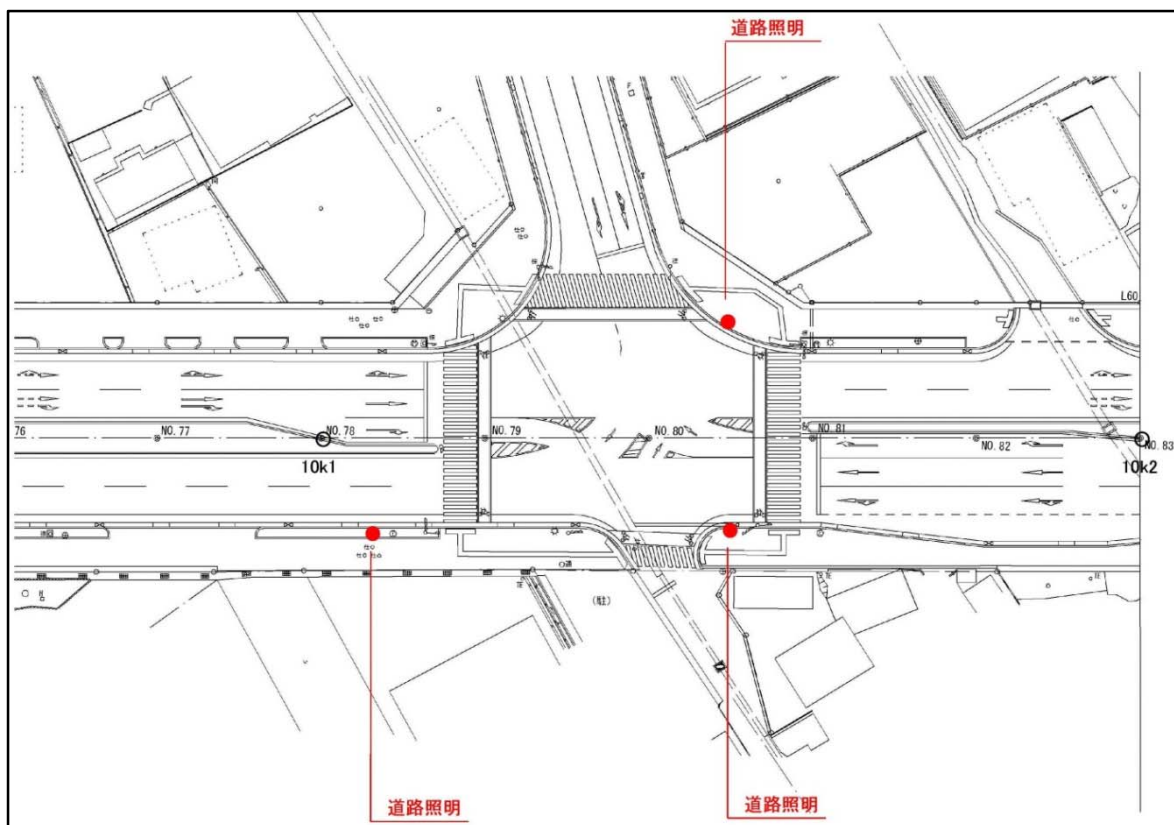
⑤新規・撤去を同じ図面に記載している。

図面への旗揚げは、現在設置している道路施設の情報のみとし、撤去情報については記載しない。



⑥一枚に複数の施設を旗揚げしている。

複数の道路施設を旗揚げしている場合、この図面がどの道路施設を対象にしているかわからない。(1枚に1つの道路施設を旗揚げする)



(5) 写真類

現況写真データは、「デジタル写真管理情報基準(案)」に基づいて、デジタルカメラにて撮影するものとする。

現況写真の撮影方法、仕様及びファイル形式を以下に示す。

①撮影方法

現況写真は、表6「現況写真撮影方法一覧表」に示す、タイプA～Dの4種類の方法で撮影する。

なお、現況写真撮影時には原則として作業員、通行者、黒板等が入らない状況で撮影する。

②仕様

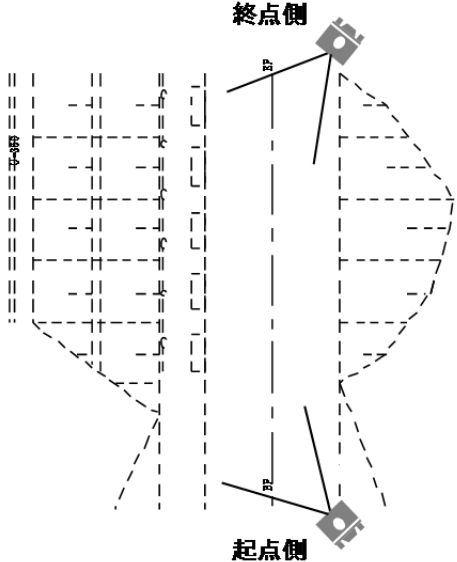
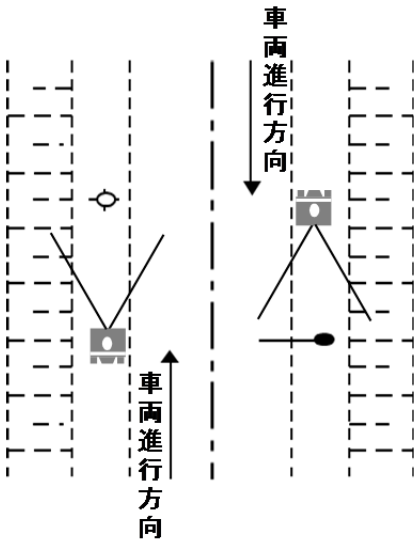
「デジタル写真管理情報基準(案)」を適用し、100～200 万画素程度のデジタルカメラで撮影する。

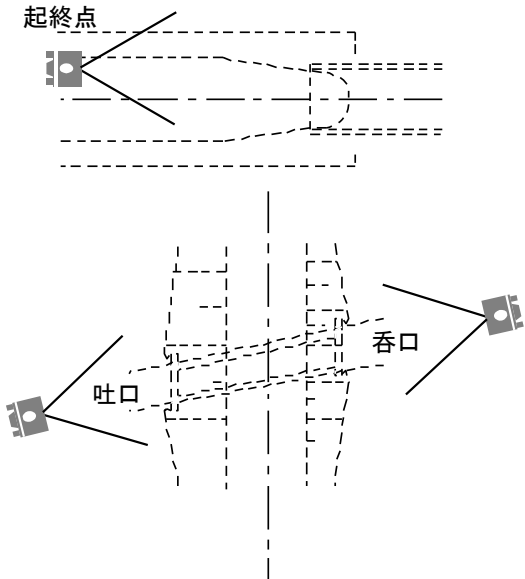
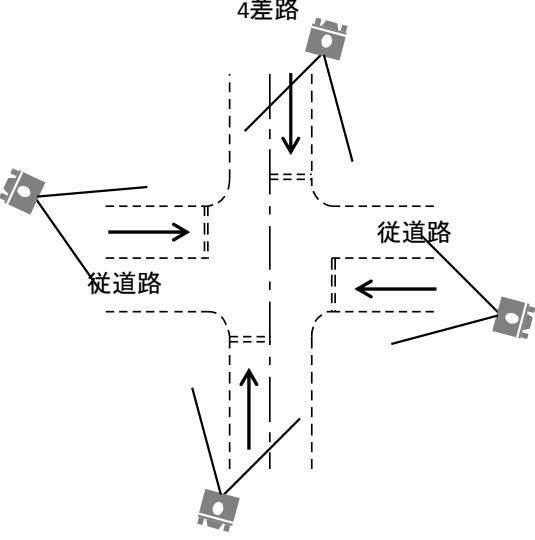
③ファイル形式

ファイル形式は、「デジタル写真管理情報基準(案)」を適用する。また、ファイル名は、任意の「半角英数大文字8文字＋拡張子」とする。

(例:「E0200101.jpg」、「E0200102.jpg」…等)

表6 現況写真撮影方法一覧表

撮 影 位 置 図	撮 影 方 法
Aタイプ(路線方向に長さのある場合) 	起点側および終点側からの2方向より撮影するのを基本とする。 但し、延長が短い場合は起点からのみでも問題ない。 ① 歩道及び路肩に施設がある場合、施設反対側車道端で撮影する。 但し、4車線道路の場合は中央帯とする。 ② 中央分離帯に施設がある場合、左側車道端から撮影する。 ③ 切土のり面に施設がある場合、施設の反対側から全体が視界に入る位置から撮影する。 ④ 盛土のり面に施設がある場合、施設全体が視界に入る位置から撮影する。
Bタイプ(路線方向に点在するもの) 	車の進行方向に向かって撮影するのを基本とする。 ① 施設の全景と周辺状況が分かる位置から撮影する。 ② 標識は、標識板の近接撮影(できれば施設の設置状況も分かるもの)とする。  「標識全景」  「標識板近景」

撮 影 位 置 図	撮 影 方 法
Cタイプ(構造物) 	① 橋梁・橋側歩道橋・横断歩道橋は、施設全体が入るように撮影する。なお、高架橋等施設全体が1枚で収まりきらない場合は、必要に応じて複数に分けて撮影する。 ② トンネル・洞門・スノーシェッド・道路BOX・地下横断歩道等は、両出入口(起点側および終点側)の2方向より撮影する。 ③ 横断BOX・パイプカルバート等は、呑口(上流)側および吐口(下流)側の2方向より撮影する。 ④ 擁壁は起終点より撮影とする。 注 延長が300mを超える場合は、300m毎に1件とする。
Dタイプ(道路交差点, その他) 	① 道路交差点差路 - 平 面・・・主道路および従道路を車両進行方向を撮影する。 - 立 体・・・潜る側となる道路の起終点(上下側)から交差点全体が入るよう撮影する。 ② 鉄道交差点 - 平 面・・・起終点から交差点の全体が入るよう撮影する。 - 立 体・・・起終点の鉄路から立体空間全体が入るよう撮影する。(鉄路への立入りについては協議の上撮影を行う。) ③ 車両諸元計測施設・災害予知装置・除雪ステーション等は建物の全景が入るよう撮影する。 ④ 気象観測施設は観測機種毎に撮影する。但し、テレメータは施設の全景を撮影する。 ⑤ 自動車駐車場・自転車駐車場等は、施設の反対側車道端から全体が入るよう撮影する。 ⑥ 共同溝・CAB電線共同溝等の地下埋設施設は、マンホール・ハンドホール等を撮影する。

5.10. 道路施設基本データ作成システム利用によるデータ作成

詳細については、「道路施設基本データ作成システム利用マニュアル 4. 操作説明」を参照。

(1) 工事情報の登録

追加ボタンをクリックし、表示される工事に関する諸元情報を入力し登録する。(4-3-1)

【0001】 道路施設基本データ作成システム (処理選択) 四国地方整備局

工事情報

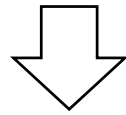
追加 修正 削除 位置図

道路施設基本データ

データ読込 図面写真入力 データチェック 一括印刷 道路台帳出力 電子納品データ出力 終了

件数 0

工事件名	工事番号	工事年度	発注者名	請負会社	現場代理人	請負者電話番号	I	J	K	L
------	------	------	------	------	-------	---------	---	---	---	---



【1001】 道路施設基本データ作成システム (工事情報追加・修正)

工事情報

工事件名 平成〇〇年度 〇〇改良工事

工事番号 12345678901234

工事年度 2014 年度(西暦)

工期(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日

発注者 国土交通省 〇〇事務所

発注担当課長 〇〇 〇〇

請負者

会社名 (株)〇〇 建設

現場代理人 □□ □□

主任技術者 ×× ××

電話番号 111-111-1111 FAX番号 999-999-9999

E-Mail 123@.jp

供用未供用の別

供用/未供用 供用

供用予定(西暦) 2015 年 1 月

監督職員

監督部署 〇〇監督官詰所

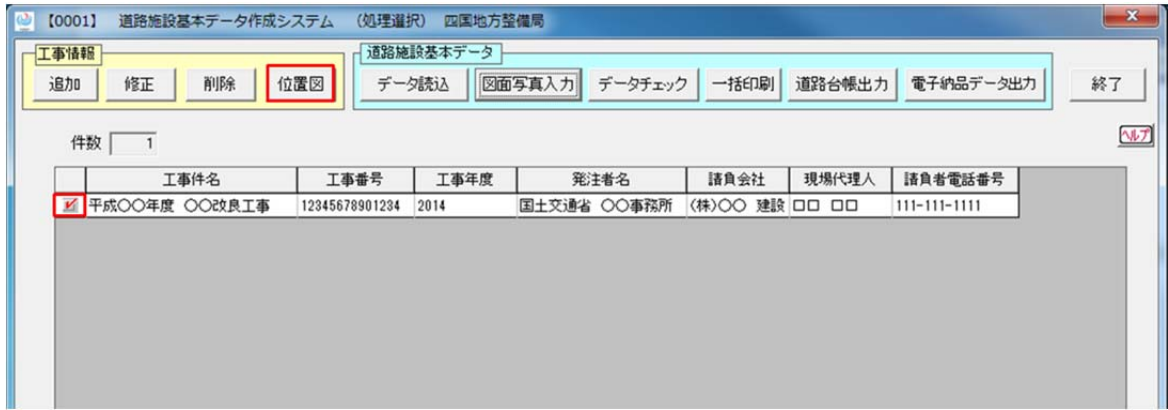
主任監督員 〇〇 〇〇

監督員 △△ △△

登録 戻る

(2) 位置図の登録

5.2. にて作成した道路施設基本データ全体位置図を登録する。(4-4)



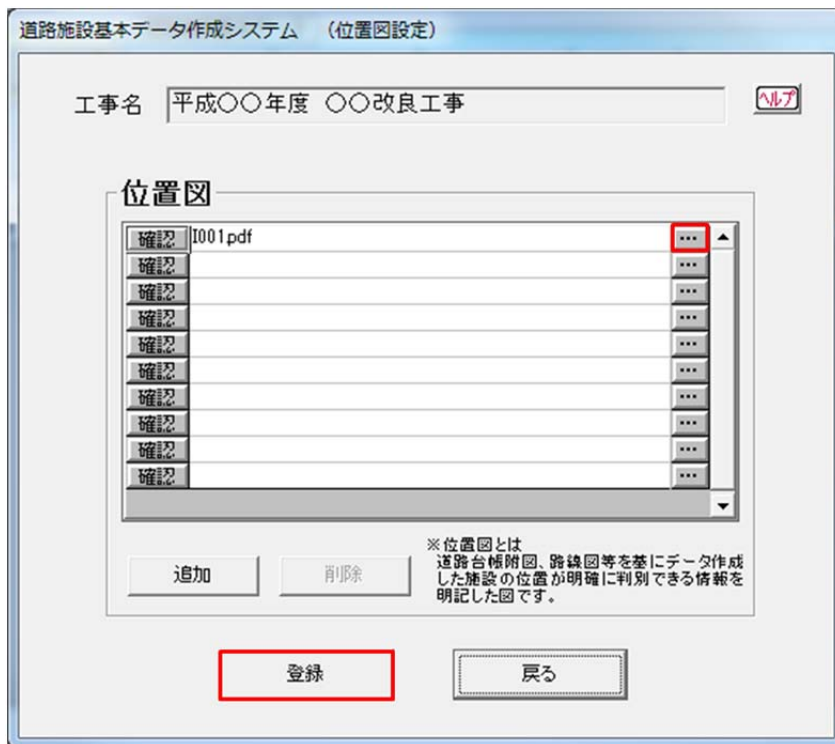
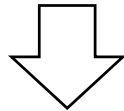
【0001】 道路施設基本データ作成システム (処理選択) 四国地方整備局

工事情報: 追加 修正 削除 **位置図**

道路施設基本データ: データ読込 図面写真入力 データチェック 一括印刷 道路台帳出力 電子納品データ出力 終了

件数 1

	工事件名	工事番号	工事年度	発注者名	請負会社	現場代理人	請負者電話番号
☒	平成〇〇年度 〇〇改良工事	12345678901234	2014	国土交通省 〇〇事務所	(株)〇〇 建設	〇〇 〇〇	111-111-1111



道路施設基本データ作成システム (位置図設定)

工事名 平成〇〇年度 〇〇改良工事 ヘルプ

位置図

確認	位置図	...
☒	I001.pdf	...
☐		...
☐		...
☐		...
☐		...
☐		...
☐		...
☐		...
☐		...
☐		...

追加 削除

※位置図とは
道路台帳附図、路線図等を基にデータ作成
した施設の位置が明確に判別できる情報を
明記した図です。

登録 戻る

(3) 文字・数値の読込

5.3. にて作成した記入シートを読込む。(4-6)

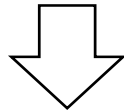
【0001】 道路施設基本データ作成システム (処理選択) 四国地方整備局

工事情報

追加 修正 削除 位置図 データ読込 図面写真入力 データチェック 一括印刷 道路台帳出力 電子納品データ出力 終了

件数 1

工事件名	工事番号	工事年度	発注者名	請負会社	現場代理人	請負者電話番号
平成〇〇年度 〇〇改良工事	12345678901234	2014	国土交通省 〇〇事務所	(株)〇〇建設	〇〇 〇〇	111-111-1111



【2002】 道路施設基本データ作成システム (データ読込：施設種別選択)

工事名 平成〇〇年度 〇〇改良工事

全施設選択

施設番号	施設名
C020	縦断勾配
C021	バーチカルカーブ
C030	平面線形
C050	舗装
C060	道路交差点
C070	鉄道交差点
C080	歩道及び自転車歩行者道
C090	独立専用歩道
C100	中央帯
C110	環境施設帯
D010	橋梁
D020	橋側歩道橋
D030	横断歩道橋

選択実行

既存データ読込 道路台帳読込 戻る

<一括データ読込>

(4) データのチェック

読込んだ記入シートに対しデータのチェックを行いエラーの無いことを確認する。(4-7)

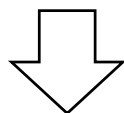
【0001】 道路施設基本データ作成システム (処理選択) 四国地方整備局

工事情報: 追加, 修正, 削除, 位置図

道路施設基本データ: データ読込, 図面写真入力, **データチェック**, 一括印刷, 道路台帳出力, 電子納品データ出力, 終了

件数: 1

	工事件名	工事番号	工事年度	発注者名	請負会社	現場代理人	請負者電話番号
☒	平成〇〇年度 〇〇改良工事	12345678901234	2014	国土交通省 〇〇事務所	(株)〇〇 建設	〇〇 〇〇	111-111-1111



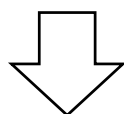
【2101】 道路施設基本データ作成システム (データチェック: 条件指定)

全工種選択 ヘルプ

	工種(テーブル)名	チェック日付
☒	C080歩道自歩道	
☒	D010橋梁基本	
☒	D011橋梁幅員構成	
☒	D015橋梁上部工	
☒	D017橋梁径間	
☒	D040トンネル基本	
☒	E010防護柵基本	
☒	E050標識基本	
☒	E051標識各板諸元	

チェック結果出力先指定

実行 戻る



データチェック

i 指定された工種にエラーはありませんでした。

OK

(5) イメージデータの入力

5.9. にて用意した図面及び現況写真を読み込む。(4-9)

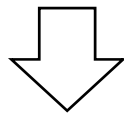
【0001】 道路施設基本データ作成システム (処理選択) 四国地方整備局

工事情報: 追加, 修正, 削除, 位置図

道路施設基本データ: データ読込, **図面写真入力**, データチェック, 一括印刷, 道路台帳出力, 電子納品データ出力, 終了

件数: 1

	工事件名	工事番号	工事年度	発注者名	請負会社	現場代理人	請負者電話番号
☒	平成〇〇年度 〇〇改良工事	12345678901234	2014	国土交通省 〇〇事務所	(株)〇〇 建設	〇〇 〇〇	111-111-1111



道路施設基本データ作成システム (画像設定)

工事名: 平成〇〇年度 〇〇改良工事

施設名: 〇〇橋

図面

確認	...

追加 削除 **イメージ作成**

写真

確認	...

追加 削除 **イメージ作成**

登録 戻る

※各工種に必要な図面類及び写真類(合成等の加工処理)を登録する。

注: 必ず「イメージ作成」のボタンより登録して下さい。【「…」ボタンよりの直接登録は不可】

(6) 道路施設基本台帳等出力

登録した道路施設基本台帳の出力を行い、不具合が無いか確認する。(4-10)

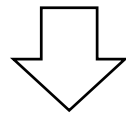
【0001】 道路施設基本データ作成システム (処理選択) 四国地方整備局

工事情報: 追加 修正 削除 位置図

道路施設基本データ: データ読み込み 図面写真入力 データチェック 一括印刷 **道路台帳出力** 電子納品データ出力 終了

件数 1

	工事件名	工事番号	工事年度	発注者名	請負会社	現場代理人	請負者電話番号
☒	平成〇〇年度 〇〇改良工事	12345678901234	2014	国土交通省 〇〇事務所	(株)〇〇 建設	〇〇 〇〇	111-111-1111



【3101】 道路施設基本データ作成システム (台帳出力: 施設選択)

工事名 平成〇〇年度 〇〇改良工事

件数 5 **全施設選択**

	施設名	施設対応番号	路線	百米標	距離	名称	データ区分
☒	歩道及び自転車歩行者道	C0800001	0032	10	0	香川県高松市	新設
☒	橋梁	D0100001	0032	10	0	〇〇橋	新設
☒	トンネル	D0400001	0032	20	0	〇〇トンネル	改良
☒	防護柵	E0100001	0032	1	0		撤去
☒	道路標識	E0500001	0032	10.5	0	〇〇	新設

選択 戻る

(7) 電子納品データ出力

電子納品データの出力を行う。(4-11)

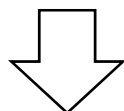
【0001】 道路施設基本データ作成システム (処理選択) 四国地方整備局

工事情報: 追加, 修正, 削除, 位置図

道路施設基本データ: データ読み込み, 図面写真入力, データチェック, 一括印刷, 道路台帳出力, **電子納品データ出力**, 終了

件数: 1

	工事件名	工事番号	工事年度	発注者名	請負会社	現場代理人	請負者電話番号
☒	平成〇〇年度 〇〇改良工事	12345678901234	2014	国土交通省 〇〇事務所	(株)〇〇 建設	□□ □□	111-111-1111



【4001】 道路施設基本データ作成システム (ファイル出力: 出力先指定)

契約締結時期の選択
☐ 平成23年3月以前に契約を締結した工事 ☒ 平成23年4月以降に契約を締結した工事

工事種類の選択
☒ 一般土木工事 ☐ 電気通信設備工事 ☐ 機械設備工事

出力メディア
☒ CD-R(700MB) ☐ DVD-R(4.7GB)

道路施設工事情報 修正

道路施設図面・写真情報入力

c: *XML

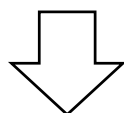
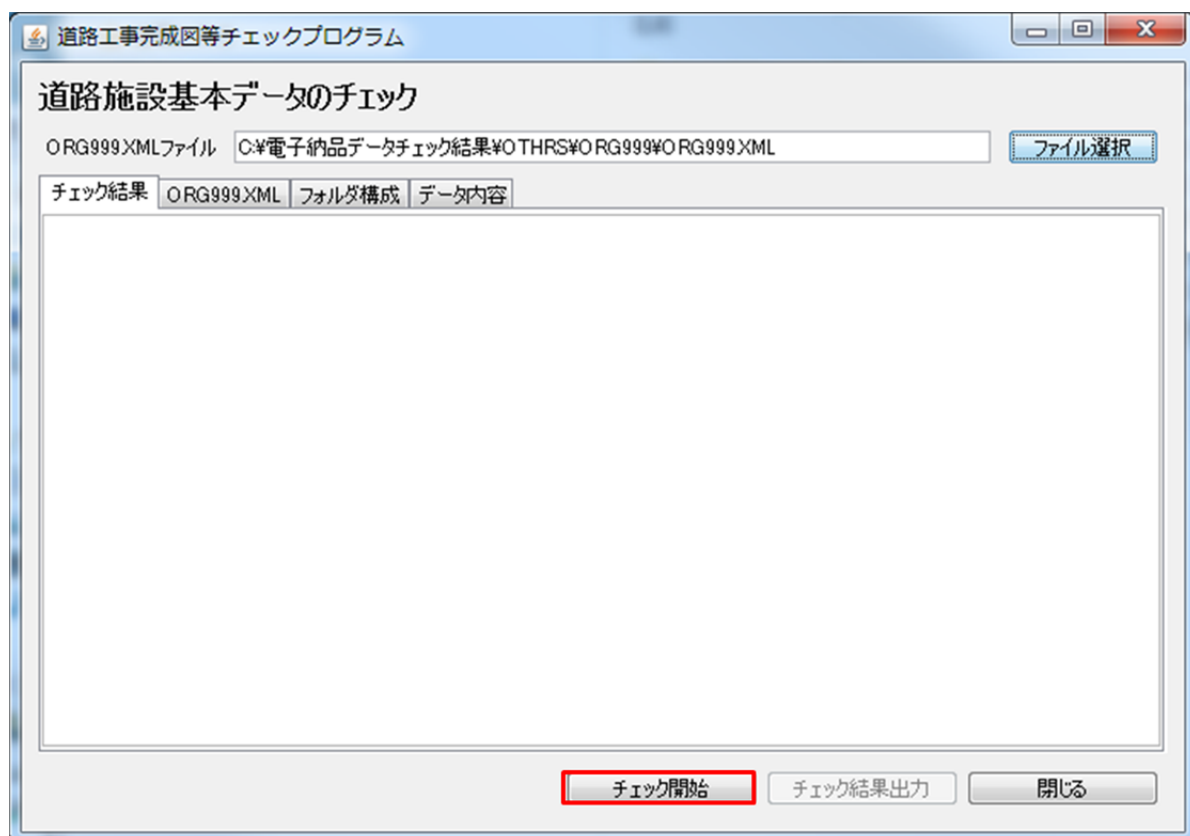
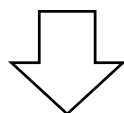
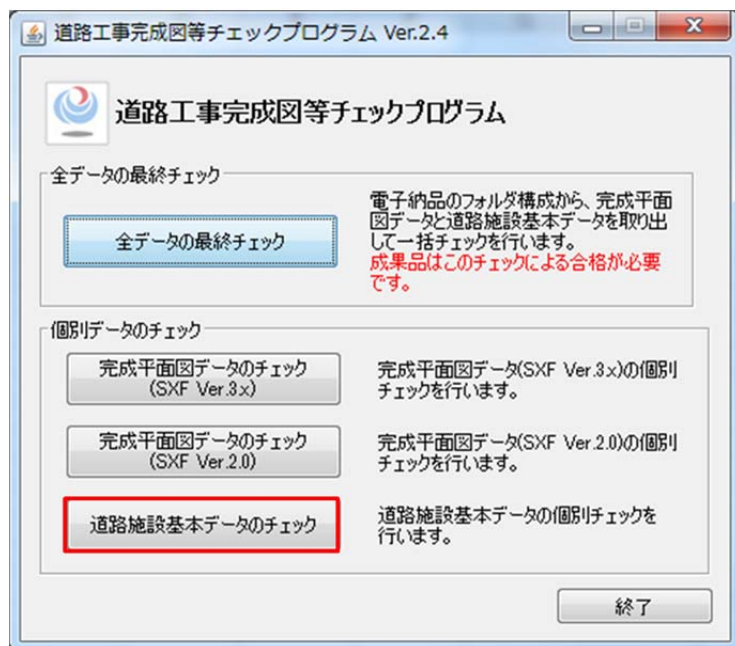
C:\
電子納品データ出力

INDEX_C.XML

出力実行 戻る

(8) 電子納品チェック

(7)にて出力した電子納品データを道路工事完成図等チェックプログラムにてチェックを行い、エラーの無いことを確認する。



道路施設基本データチェック結果の各チェック項目にエラーの無いことを確認する。

道路工事完成図等チェックプログラム

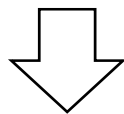
道路施設基本データのチェック

ORG999.XMLファイル C:\電子納品データ\チェック結果\0THRS\ORG999\ORG999.XML ファイル選択

チェック結果 ORG999.XML フォルダ構成 データ内容

チェック項目	エラー件数
道路施設基本データ管理ファイル(ORG999.XML)チェック	0 件
フォルダ構成・ファイル名チェック	0 件
道路施設基本データ内容チェック	0 件

チェック開始 チェック結果出力 閉じる



道路施設基本データチェック結果としてチェック結果の出力を PDF で保存する。

■■■■チェック結果■■■■

チェック項目	エラー件数
道路施設基本データ管理ファイル (ORG999.XML) チェック	0 件
フォルダ構成・ファイル名チェック	0 件
道路施設基本データ内容チェック	0 件

■■■■ORG999.XML■■■■

メディア番号	タグ名	要素内容	不正内容	判定内容
-	-	-	-	-

■■■■フォルダ構成■■■■

階層	該当データ	不正内容	判定内容
-	-	-	-

■■■■データ内容■■■■

ファイル名	行番号	不正内容	判定内容
-	-	-	-

6. とりまとめ及び提出物内容

道路施設基本データ成果として、下記に示す【文書類】・【電子データ】を取りまとめ、完成検査前に監督職員に提出しデータ内容の完了承認を受ける。

6.1. 提出する際の留意点

(1) 表紙

道路施設基本データは A4縦のファイルに綴じ、表紙には「工事名」・「道路施設基本データ」・「施工業者名」を記載する。



表紙作成例

(2) 文書類

道路施設基本データの印刷物は、表7の順序でインデックスをつけて綴じる。

なお、道路施設基本台帳については、「路線単位」・「施設単位」に整理する。

表7 文書類とりまとめ内容

順番	インデックス	内容	備考
1	総括表	道路施設基本データ総括表	別途様式に記入したもの
		道路施設基本データ総括表	システム一括印刷よりの総括表を印刷したもの
2	チェックシート	道路施設基本データチェックシート(レベル1用)	別途様式に記入したもの
		道路施設基本データチェックシート(レベル2用)	別途様式に記入したもの
3	チェック結果	道路工事完成図等チェックプログラムのチェック結果	システムより出力したもの
4	位置図	道路施設基本データ全体位置図	道路施設基本データ全体位置図にて作成したもの
5	データ一覧表	道路施設基本データ一覧表	システム一括印刷よりの一覧表を印刷したもの
6	基本台帳	道路施設基本台帳	システム道路台帳出力より出力したExcelを台帳単位で印刷したもの
7	工事完成図等	工事完成図等	データ作成に利用した完成図等資料
8	事前確認 提出資料	道路施設基本データ作成対象施設確認表	事前確認にて提出した資料一式
		事前提出資料チェックシート	
		作成対象施設平面図(位置図)	
		工事数量総括表(作成対象施設明記)	



とりまとめ例

(3) 電子データ

電子媒体は、表8のフォルダ構成とし、媒体の表記は「工事名」、「道路施設基本データ」、「施工業者名」を記載する。

表8 電子媒体フォルダ構成内容

順番	フォルダ	形式	内容	備考
1	電子納品チェック結果	PDF	工事完成図等チェックプログラムのチェック結果	チェック結果をPDFで保存したもの
2	道路施設台帳	Excel	道路施設基本台帳	システム道路台帳出力より出力したExcel
3	電子納品データ	電子納品形式	電子納品データ	システム電子納品データ出力より出力したもの
4	工事完成図等	CADまたはPDF	工事完成図等	工事にて作成した完成図等資料



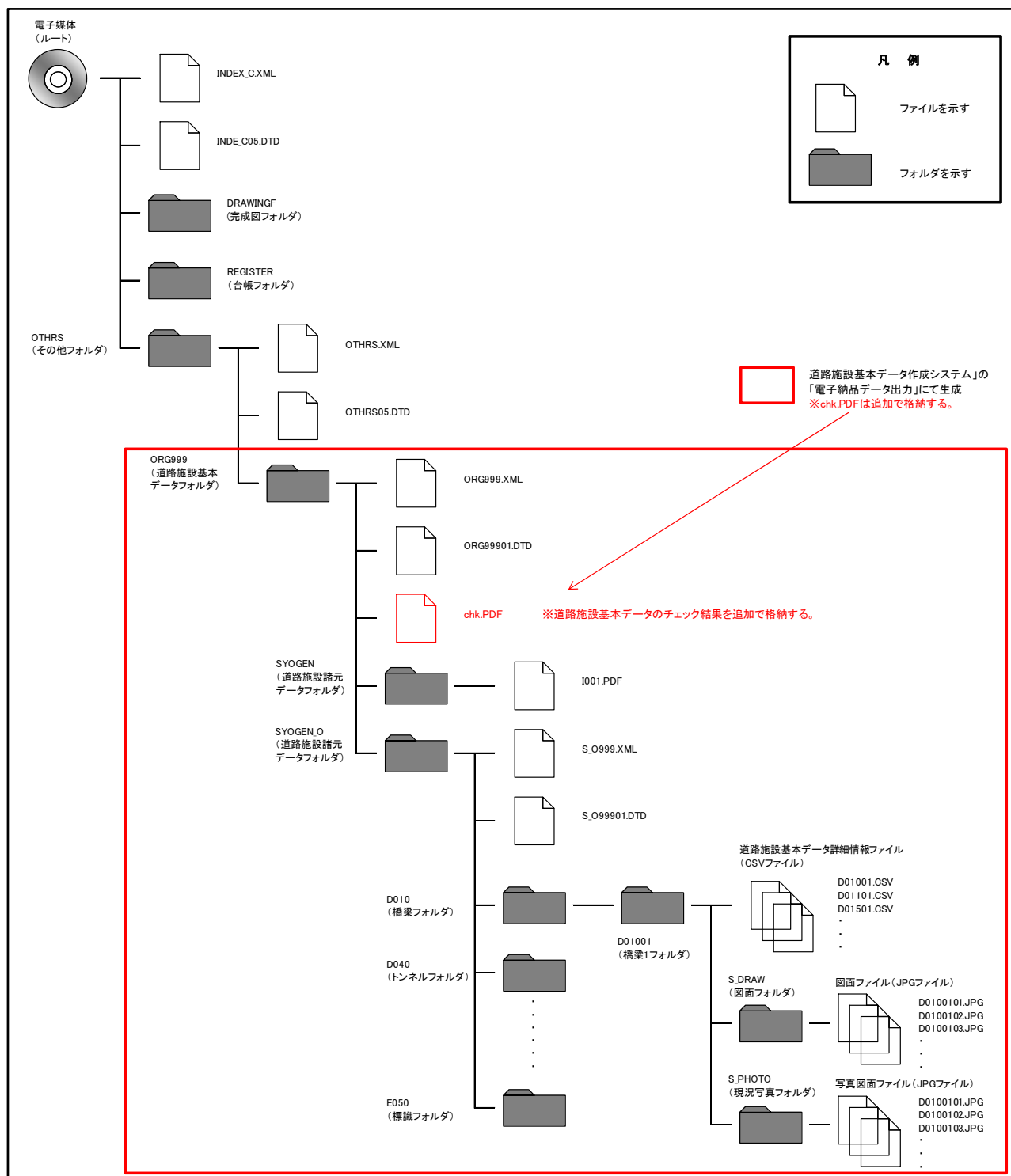
電子媒体例

7. 電子納品への道路施設基本データ格納

電子納品媒体フォルダへの格納(図)に示すように「道路工事完成図等作成要領」に準拠したフォルダ構成とし、道路施設基本データは、「OTHERS/ORG999」フォルダ内に格納する。

道路施設基本データ作成においては、「道路施設基本データ作成システム」の「電子納品データ出力」機能にてシステムが自動的に生成するため、出力されたデータを電子納品本体の「OTHERS」フォルダへ追加する。

図4 道路施設基本データ格納構成



8. 成果提出

完了確認時の道路施設基本データ成果は、監督職員の指示に従い、成果物として納品する。

9. 質問・問合せ

道路施設基本データ作成時に疑問点が生じた場合は、下記に示す分類の問合せ先に質問をお願いします。

項番	代表的な問合せ分類	問合せ先
1	道路施設基本データ作成要領(案)に関する内容	道路管理課(各事務所)
2	道路施設基本データ作成に関する詳細内容	工事監督職員(各事務所)
3	道路施設基本データ作成システムに関する内容 【システム操作・記入シート等】	国土交通省 国土技術政策総合研究所
4	道路管理データベース データ作成マニュアル(案)に関する内容	
5	道路工事完成図等チェックプログラムに関する内容	

注1: 項番1, 2の分類は別添資料「問い合わせ・Q&A【記入用紙】」を用い質問をお願いします。

注2: 項番3～5の分類は国土交通省 国土技術政策総合研究所の「道路工事完成図等作成支援サイト」(<http://www.nilim-cdrw.jp/>) ヘルプデスクを確認して質問をお願いします。

国土交通省 国土技術政策総合研究所

道路工事完成図等作成支援サイト

ホーム

完成平面図

完成縦断面図

道路施設基本データ

ダウンロード

Q&A

ヘルプデスク

リンク

サイトマップ



■ 新着情報

2016.2.3 完成平面図作成に関するQ&Aを更新しました。(No.85を追加。)

2015.12.4 道路工事完成図等チェックプログラム Ver.3.0に関するQ&Aを公開しました。

2015.11.27 <道路工事完成図等チェックプログラム 更新のお知らせ>
複数あるチェックプログラムを統合した、道路工事完成図等チェックプログラム Ver.3.0を公開しました。
旧バージョンをご利用の方は、バージョンアップをお願い致します。

10. 別添資料

道路施設基本データ作成時に必要となる別途貸与される資料および様式は下記となります。

- (1) 事前提出様式(Excel)
- (2) とりまとめ提出時様式(Excel)
- (3) 問い合わせ・Q&A【記入用紙】(Excel)
- (4) データ作成マニュアル【消波工 D140】(PDF)
- (5) 入力シート【四国地方整備局 整備対象区目】(PDF)

53